

アクションプラン 最終評価

| | | |
|-----|------------------|---|
| 所属名 | 教育委員会(事務局) 教育総務課 | <input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関 |
|-----|------------------|---|

項目選択

| | |
|-------|---|
| (1)項目 | 4 生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境づくり (15)ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実 【目指すところ】 ①幼児期における運動、スポーツの基礎づくり ②少年期(小学校～高等学校)の適正なスポーツ活動の充実 ③成年期からの運動、スポーツ活動の充実 |
|-------|---|

①幼児期における運動、スポーツの基礎づくり

| | |
|--------|--|
| 取組の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域、幼児教育・保育を行う機関に幼児期における運動の大切さの啓発を進めます。 ・幼児教育、保育を行う機関や家庭において、1日合計「60分」を目安に楽しく体を動かす機会を確保し、幼児期の運動の習慣化を図るための取組を支援します。 |
| 事業・取組名 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力向上推進プロジェクト事業 |

最終評価

| | | | |
|-------------|---|------|--|
| 担当課 自己評価 | B | 評価理由 | 【体育保健課】 ◇モデル地域での実践では保育園等での運動プログラムを実施し、モデル地域での幼児期の運動意欲や指導者の運動指導のスキルの向上を図るとともに、その成果を研修会やリーフレット等で広く周知することができた。 |
|-------------|---|------|--|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| 【体育保健課】 ◇子どもの体力・運動能力が低下、二極化の傾向にある鳥取県の課題を解決し、運動の習慣化及び体力の向上を図るため、地域の指導者等を学校に派遣するなど、運動機会の確保及び充実を図る。 <チームとっとり元気キッズ育成モデル校事業> ・伯耆町 地域人材を活用した保育園等での運動あそびの実施 ・若桜町 幼児期から中学校までの一貫した体力向上の取組 ・岩美町 小学校の体育学習に地域人材を活用 <児童生徒の体力向上支援事業 ・遊びの王様ランキングの実施 | 【体育保健課】 ◇モデル校での実践により、幼児の運動意欲の向上、指導者の指導スキルの向上が認められた。 ◇遊びの王様ランキング等の活用により、幼児の運動意欲の向上を図ることができた。 |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| 【体育保健課】 ◇運動実施時間が少ない子は幼児期から運動に親しんでいない実態があることから、引き続きモデル指定事業による成果の普及とともに、リーフレット等による意識啓発が必要。 ◇幼児の指導を行う指導者の育成 | 【体育保健課】 ◇モデル指定事業の実施 ◇リーフレットによる啓発(研修会での配布や講義) ◇指導者を対象とした実技講習会の実施 |

②少年期(小学校～高等学校)の適正なスポーツ活動の充実

| | |
|--------|---|
| 取組の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育学習の充実を図り、児童生徒の誰もが運動する喜びを味わいながら、自主的、主体的な活動として、運動(遊び)が日常的に子どもの中に定着し、習慣化されるように努めます。 ・運動機会を充実させるとともに、体力テスト結果を分析し効果的に活用することにより、児童生徒の体力向上を図ります。 ・生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、人格形成につながる児童生徒のスポーツ活動や運動部活動の充実を図ります。 |
| 事業・取組名 | <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県子ども未来基金費 ・県立鳥取工業高等学校グラウンド整備事業費 ・県立倉吉西高等学校弓道場整備事業費 ・県立倉吉総合産業高等学校グラウンド整備事業費 ・学校体育充実事業 |

- ・子どもの体力向上推進プロジェクト事業
- ・学校関係体育大会推進費
- ・県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業
- ・魅力あるスポーツ活動推進事業
- ・小学校体育専科教員の配置
- ・日韓スポーツ交流事業
- ・因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流

最終評価

| | | |
|---------------------|---|---|
| <p>担当課 自己評価</p> | <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>ほぼ計画(予定)どおり推進している。</p> | <p>評価理由</p> <p>【教育総務課】(鳥取県子ども未来基金費) ◇随時基金への寄附金積立を行い、適切に基金の管理を行った。運用した基金はジュニアスポーツの振興の経費として対象事業に充当する予定である。 【教育環境課】 ◇県立高等学校の体育施設の改修・整備を、計画どおり完了することができた。 【体育保健課】 ◇小～高等学校、特別支援学校教員を対象とした体育実技講習会では、計213名参加。指導スキルの向上を図ることができた。 ◇平成28年度全国高校総体ホッケー競技会場となる八頭高校ホッケー場の人工芝の張替えが完了し、ホッケー競技の環境整備が整った。(H27年12月20日工事完了) ◇スポーツ指導者研修会を年4回実施。約500名の指導者の参加があり、指導スキルの向上を図ることができた。 ◇小学校に体育専科教員を5名(10校)配置し、小学校での体育学習の充実を図ることができた。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】(日韓スポーツ交流事業、因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流) ◇因・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会を8月に開催し、山陰海岸ジオパークの周知を図るとともに、因幡地域と但馬地域の陸上競技を通じたスポーツ交流を促進することができた。 ◇公益財団法人鳥取県体育協会と江原道体育会が12月に実施した青少年スポーツ交流事業を支援し、日韓両国の友好親善とスポーツの振興を推進することができた。</p> |
|---------------------|---|---|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| <p>【教育総務課】(鳥取県子ども未来基金費) ◇子ども未来基金活用報告書の作成 ◇基金への寄附金積立 【教育環境課】 ◇県立高等学校の体育施設の改修・整備に取り組んでいる。 【体育保健課】 ◇トップアスリート派遣事業による体育授業への指導者派遣やアスリート派遣。 ◇コンソーシアムによる体力向上の取組。(地域指定:若桜町 岩美町 伯耆町) ◇八頭高ホッケー場人工芝の張替工事(12月20日完了) ◇小学校体育専科教員5名を配置。 ◇コンソーシアムによる体力向上の取組では、スポーツ指導者研修会により、「子どものスポーツ活動ガイドライン」の周知をした。(4回実施、計479人が受講) 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】(日韓スポーツ交流事業、因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流) ◇8月に実施された因・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会への補助を予定どおり実施した。 ◇公益財団法人鳥取県体育協会と江原道体育会が12月に実施した青少年スポーツ交流事業を支援した。</p> | <p>【教育総務課】(鳥取県子ども未来基金費) ◇寄附者の方に向けた活用報告書を作成し、前年度の基金の用途についてお知らせした。 ◇適時基金を積立・運用し、適切に基金の管理を行った。 【教育環境課】 ◇計画どおり完了することができた。 【体育保健課】 ◇トップアスリート派遣や地域の運動指導者の派遣により、各学校では、児童生徒の運動意欲の向上を図ることができた。 ◇コンソーシアムによる体力向上の取組では、指定地域での工夫した取り組みにより、児童生徒の運動意欲及び指導者の指導スキルの向上を図ることができた。 ◇ホッケー場の整備により、ホッケー競技の競技環境が整った。 ◇スポーツ指導者研修会は計画通り4回実施し、子どものスポーツ活動ガイドラインの周知及び指導者が先進的な知識や指導方法等を習得する機会となった。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】(日韓スポーツ交流事業、因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流) ◇山陰海岸ジオパークの周知を図るとともに因幡地域と但馬地域の陸上競技を通じたスポーツ交流を促進することができた。 ◇スポーツ交流試合等を通じて、日韓両国の友好親善とスポーツの振興を推進した。</p> |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| <p>【教育総務課】(鳥取県子ども未来基金費) ◇基金の適切な運用 ◇基金の充当事業及び充当額の調整 ◇H27年度の基金の用途のお知らせ 【教育環境課】 ◇学校の要望も踏まえながら、引き続き体育施設の改修・整備に取り組む。 【体育保健課】 ◇子どものスポーツ活動ガイドラインについては、更に周知することが必要 ◇スポーツ指導者の資質向上 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】(日韓スポーツ交流事業、因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流) ◇引き続き関係機関と連携しながら、円滑に事業を進めていく。</p> | <p>【教育総務課】(鳥取県子ども未来基金費) ◇寄附金の収納状況を随時確認し、適時積立を行う。 ◇関係課と連絡・調整を行い、適切に基金を取崩し該当事業に充当する。 ◇寄附者の方に向けた活用報告書を作成し、H27年度の基金の用途についてお知らせする。 【教育環境課】 ◇改修・整備の必要性を踏まえた予算の確保に努める。 【体育保健課】 ◇スポーツ指導者研修会の開催 ◇研修会等での子どものスポーツ活動ガイドラインの周知 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】(日韓スポーツ交流事業、因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流) ◇引き続き関係機関と連携しながら、円滑に事業を進めていく。</p> |

③ 成年期からの運動、スポーツ活動の充実

取組の方向

- ・ウォーキングなど手軽に日常生活で取り組むことができる運動やスポーツを奨励し、運動習慣づくりを進めます。
- ・各種大会やスポーツイベントなどの周知、普及・啓発、開催支援等を通じて、年齢、性別、障がい等を問わず、誰もが、関心、適性等に応じてスポーツ活動へ参加しやすい環境を整えます。

- 事業・取組名**
- ・県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業
 - ・障がい者スポーツ振興事業
 - ・障がい者スポーツ機会創出事業
 - ・精神障がい者スポーツ大会
 - ・レクリエーション活動支援事業
 - ・体育施設運営費
 - ・体育施設改修費
 - ・県立体育施設バリアフリー化事業
 - ・公益財団法人鳥取県体育協会運営費補助金
 - ・スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業
 - ・倉吉自転車競技場運営費
 - ・スポーツ・レクリエーション事業
 - ・生涯スポーツ推進費
 - ・「関西ワールドマスターズゲームズ2021」平成27年度開催準備費負担金
 - ・とっとり生涯スポーツ創生事業
 - ・クライミング施設整備事業

最終評価

| | | | |
|-------------|-------------|------|--|
| 担当課 自己評価 | A | 評価理由 | <p>【体育保健課】(県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業) ◇H27年12月20日に工事が完了し、ホッケー競技の競技環境を整えることができた。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇県民スポレク祭夏季大会(8月)、秋季大会(10月)、冬季大会(2月)を予定どおり開催した。 ◇県民スポレク祭には、10,000人以上が参加し、多くの県民にスポーツに親しめる機会を提供することができた。 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】(障がい者スポーツ振興事業、障がい者スポーツ機会創出事業) ◇事業を予定どおり進捗させることができた。 ◇各種障がい者スポーツ大会の開催を支援することにより、障がい者に対する理解の促進や健常者と障がい者との交流がなされてきた。 【福祉保健部子育て王国推進局 青少年・家庭課(知事部局)】(レクリエーション活動支援事業) ◇レクリエーション活動を全県的に展開する鳥取県レクリエーション協会に対して助成することで、レクリエーションの普及振興の一助となっている。</p> |
| | 目的・目標を達成した。 | | |

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|--|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| <p>【体育保健課】(県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業) ◇H27年12月20日に工事が完了した。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇ワールドマスターズゲームズ2021の本県開催種目の立候補に向け、情報収集、意見聴取を行った。グラウンド・ゴルフの聖地化に向けた取組に対して町と意見交換し、要望を踏まえつつアドバイスを行った。 ◇県民スポレク祭夏季大会(8月)、秋季大会(10月)、冬季大会(2月)を予定通り開催した。 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】(障がい者スポーツ振興事業、障がい者スポーツ機会創出事業) ◇障がい者スポーツ振興事業は、各障がい者スポーツ大会へ費用の助成を行った。 ◇精神障がい者スポーツ大会は、鳥取県精神保健福祉協会に委託し、各種事業を進めた。 【福祉保健部子育て王国推進局 青少年・家庭課(知事部局)】(レクリエーション活動支援事業) ◇鳥取県レクリエーション協会が実施する様々な体験ができるレクリエーションのイベントに係る経費の一部を助成した。</p> | <p>【体育保健課】(県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業) ◇ホッケー競技の競技環境を整えた。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇ワールドマスターズゲームズ2021の本県開催種目の立候補を行った。 ◇グラウンド・ゴルフの聖地化に向けた取組に対して補助を行った。 ◇県民スポレク祭には、10,000人以上が参加し、多くの県民にスポーツに親しめる機会を提供することができた。 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】(障がい者スポーツ振興事業、障がい者スポーツ機会創出事業) ◇各種障がい者スポーツ大会の開催を支援することにより、障がい者に対する理解の促進や健常者と障がい者との交流がなされてきた。 【福祉保健部子育て王国推進局 青少年・家庭課(知事部局)】(レクリエーション活動支援事業) ◇青少年の健全育成、県民一人ひとりが楽しみながら人と出会い、心と体の健康づくりに有効なレクリエーションを全県的な活動を行う鳥取県レクリエーション協会へ助成することで、県民一人ひとりが楽しみながら人と出会い、心と体の健康づくりに有効なレクリエーションの普及振興の一助となっている。</p> |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| <p>【体育保健課】(県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業) ◇成人の運動習慣の定着等 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇開催種目の決定に向けた取組が重要になる。また、グラウンドゴルフの聖地化に向けた取組も継続して実施することが重要。 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】(障がい者スポーツ振興事業、障がい者スポーツ機会創出事業) ◇障がいの有無に関わらずスポーツに親しむことができる環境を作り、裾野がさらに広がっていくよう、継続した取組が必要。 【福祉保健部子育て王国推進局 青少年・家庭課(知事部局)】(レクリエーション活動支援事業) ◇多くの県民の方にレクリエーションの体験をしていただき参加人数の増加を目指す。</p> | <p>【体育保健課】(県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業) ◇スポーツ課と連携しながら、関連する事業をすすめる。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇競技団体、地元(市町村)の意見・要望を聞きながら進めていくこと。 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】(障がい者スポーツ振興事業、障がい者スポーツ機会創出事業) ◇障がいの有無に関わらずスポーツに親しむことができる環境を作り、裾野がさらに広がっていくよう、継続した取組が必要。 【福祉保健部子育て王国推進局 青少年・家庭課(知事部局)】(レクリエーション活動支援事業) ◇多くの県民の方にレクリエーションを体験していただき、参加人数の増加を目指し、今後も経費の助成のほか、イベントのPR協力などの対応を行う。</p> |

アクションプラン最終評価

| | | |
|-----|------------------|---|
| 所属名 | 教育委員会(事務局) 教育総務課 | <input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関 |
|-----|------------------|---|

項目選択

| | |
|-------|--|
| (1)項目 | 4 生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境づくり (16)トップアスリートの育成(競技力向上) 【目指すところ】 ①ジュニア期からの一貫指導体制の整備 ②アスリートのキャリア形成の推進 ③2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした取組の実施 |
|-------|--|

①ジュニア期からの一貫指導体制の整備

| | |
|-------|---|
| 取組の方向 | ・発達段階ごとの到達目標を踏まえて指導内容を検討し、世界や全国で活躍する選手育成のために、ジュニア期からトップレベルに至る体系的な指導体制や指導プログラムの充実を図るとともに、優秀なジュニア競技者の発掘に努めます。 ・特別支援学校における運動部の指導体制の充実を図ります。 |
|-------|---|

| | |
|--------|--|
| 事業・取組名 | ・学校交流等による障がい者スポーツ振興事業 ・平成28年度全国高等学校総合体育大会特別強化事業 ・競技スポーツ推進事業 ・競技力向上のための指導者の確保事業 ・国民体育大会派遣事業 ・競技力向上対策事業費 ・全国障害者スポーツ大会派遣等事業 ・障がい者スポーツ競技力向上事業 |
|--------|--|

最終評価

| | | | |
|-------------|---|------|--|
| 担当課 自己評価 | B | 評価理由 | 【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇特別支援学校と小中高等学校との学校間交流を進めることができた。 【体育保健課】(平成28年度全国高等学校総合体育大会特別強化事業) ◇対象としている4競技において、全国大会入賞等の成績をあげることができた。 ・H27年度全国高校総体弓道女子団体優勝、男子団体5位 女子個人3位、男子個人3位、4位 ・H27年度全国高校総体自転車チームスプリント2位 1kmタイムトライアル4位 ・H27年度わかやま国体弓道少年天皇杯 ・H27年度わかやま国体自転車1kmタイムトライアル2位 ポイントレース優勝 ・全国選抜高校相撲弘前大会団体優勝 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇スポーツ顕彰、指導者確保、国体派遣、障がい者スポーツ大会への派遣、競技力向上事業を計画どおり実施した。 ◇国体は、競技得点300点を獲得し、40位、障がい者スポーツ大会は合計20個のメダルを獲得し、入賞率61%で目標(60%)を達成した。 |
|-------------|---|------|--|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|--|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| 【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇鳥取盲学校、倉吉養護学校、鳥取塾学校ひまわり分校において、小中学校等との障がい者スポーツを通じた学校間交流を行った。 【体育保健課】(平成28年度全国高等学校総合体育大会特別強化事業) ◇H28年度全国高等学校総合体育大会中国ブロック大会の本県開催4競技(相撲、ホッケー、自転車(トラック)、弓道)について、『日本一』を目標に年次的に競技力向上を図っている。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇スポーツ顕彰は3件実施。 ◇競技力向上のための指導者は、以下のとおり確保。 ・スポーツ課配置(陸上2、空手、相撲、カヌー) ・体育協会配置(セーリング、ホッケー) ・市町村(伯耆町:陸上) | 【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇学校間交流による障がい者スポーツの体験を通して、障がいに対する理解を深めるきっかけとなった。 ◇特別支援学校の児童生徒が、集団の中での活動に参加する意欲が向上した。 ◇次年度以降の交流継続につながった。 【体育保健課】(平成28年度全国高等学校総合体育大会特別強化事業) ◇弓道では、全国高校総体において女子団体優勝、国体では少年で天皇杯を受賞した。 ◇相撲では、全国新人大会において団体優勝、その他の競技も競技力を高めている。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇特に少年の競技力向上につながっており、国体の得点獲得にも少年が大きく貢献している。 (競技得点:少年/全体=220/322.5) |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |

| | |
|--|--|
| <p>【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇継続して学校間交流を実施するとともに、理解啓発を進める。 【体育保健課】(平成28年度全国高等学校総合体育大会特別強化事業) ◇開催年での優勝、入賞を目指し、引き続き強化を図る。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇強化した少年が、成年になって以降の競技力向上に如何につながるか。</p> | <p>【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇学校間交流の成果を県内の学校へ情報発信し、拡充を進める。 【体育保健課】(平成28年度全国高等学校総合体育大会特別強化事業) ◇各専門部の計画に従い、競技団体と連携を取りながら強化を図る。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇成年の受け皿(就職先)確保の方策検討。</p> |
|--|--|

②アスリートのキャリア形成の推進

| |
|--|
| <p>取組の方向 ・アスリートや指導者、競技団体に対して、競技引退後のキャリアに必要な能力等を身につける教育を受けながら、将来に備えるという「デュアルキャリア」についての普及と啓発を行うとともに、キャリア形成を指導できる環境の整備に努めます。</p> |
| <p>事業・取組名 ・競技力向上のための指導者の確保事業 ・競技力向上対策事業</p> |

最終評価

| | | |
|---------------------|---|---|
| <p>担当課 自己評価</p> | <p>B</p> <p>ほぼ計画(予定)どおり推進している。</p> | <p>評価理由</p> <p>【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇スポーツ顕彰、指導者確保、国体派遣、障がい者スポーツ大会への派遣、競技力向上事業を計画どおり実施した。 ◇国体は、競技得点300点を獲得し、40位、障がい者スポーツ大会は合計20個のメダルを獲得し、入賞率61%で目標(60%)を達成した。</p> |
|---------------------|---|---|

平成27年度の実績状況と成果等

| 平成27年度の実績状況と成果 | |
|---|--|
| 平成27年度の実績(年度末現在) | 成果 |
| <p>【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇私立高校への指導者確保(相撲、バドミントン)</p> | <p>【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇少年の競技力向上につながっており、国体の得点獲得にも少年が大きく貢献している。 (競技得点:少年/全体=220/322.5)</p> |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| <p>【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇強化した少年が、成年になって以降の競技力向上に如何につながるか。</p> | <p>【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇成年の受け皿(就職先)確保の方策検討。</p> |

③2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした取組の実施

| |
|--|
| <p>取組の方向 ・オリンピック・パラリンピック出場に向けた競技力の向上施策の推進、合宿誘致や環境整備などに取り組みます。</p> |
| <p>事業・取組名 ・学校交流等による障がい者スポーツ振興事業 ・2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト ・全国大会等推進費 ・キャンプ地誘致推進プロジェクト事業 ・障がい者スポーツ競技力向上事業</p> |

最終評価

| | | |
|---------------------|------------------------------------|--|
| <p>担当課 自己評価</p> | <p>A</p> <p>目的・目標を達成した。</p> | <p>評価理由</p> <p>【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇特別支援学校運動・スポーツ推進協議会を設置し、関係機関等との連携構築を進めることができた。 ◇学校を拠点として地域と連携したスポーツ活動の取組につながった。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇卓球ホープスナショナルチーム合宿、ジャマイカ陸上競技チームのキャンプとともに着実に実施することができた。</p> |
|---------------------|------------------------------------|--|

平成27年度の実績状況と成果等

| 平成27年度の実績状況と成果 | |
|---|--|
| 平成27年度の実績(年度末現在) | 成果 |
| <p>【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇年間3回の特別支援学校運動・スポーツ推進協議会を開催した。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇鳥取県オリ・パラキャンプ誘致推進委員会設立(H27年5月26日) →卓球ホープスナショナルチーム合宿(6月8日~12日)</p> | <p>【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業) ◇推進協議会を設置し、各特別支援学校担当者や関係課・機関との連携構築を進めた。 【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】 ◇トップアスリートの技術、姿勢等を見て、触れて、感じる事が出来る</p> |

| | |
|--|---|
| <p>→ジャマイカ陸上競技チームの世界陸上北京大会事前キャンプ(8月8日～18日)</p> <p>◇トップアスリート支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外遠征:ボート、レスリング、自転車、セーリング ・強化支援:セーリング、自転車 | <p>機会を提供することができた。</p> |
| <p>課題及び今後の取組</p> | |
| <p style="text-align: center;">課題</p> <p>【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業)</p> <p>◇計画的に特別支援学校運動・スポーツ推進協議会を開催し、競技力向上のための環境整備を進める。</p> <p>【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】</p> <p>◇2020東京オリ・パラのキャンプ誘致推進に向けて更なる取組の継続が必要。</p> | <p style="text-align: center;">今後の取組</p> <p>【特別支援教育課】(学校交流等による障がい者スポーツ振興事業)</p> <p>◇学校間交流事業や特別支援学校児童生徒地域スポーツ推進事業を実施する。</p> <p>【地域振興部 スポーツ課(知事部局)】</p> <p>◇キャンプ地誘致、選手支援を継続するなど継続して取組を行う。</p> |

アクションプラン 最終評価

| | | |
|-----|------------------|---|
| 所属名 | 教育委員会(事務局) 教育総務課 | <input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関 |
|-----|------------------|---|

項目選択

| | |
|-------|--|
| (1)項目 | 5 文化、伝統の継承、創造、再発見 (17)文化、芸術活動の一層の振興 【目指すところ】 ①文化、芸術を発表する場や鑑賞する機会の拡充 ②文化、芸術に触れ、豊かな感性を育てる機会の確保 ③文化、芸術が生活の一部となる生活スタイルの定着 |
|-------|--|

①文化、芸術を発表する場や鑑賞する機会の拡充

| | |
|-------|--|
| 取組の方向 | ・鳥取県ジュニア美術展覧会や鳥取県総合芸術文化祭、公益財団法人鳥取県文化振興財団事業のほか、廃校等を使った文化、芸術の発表等による鑑賞人口の拡大など、県民が文化、芸術を発表する場や鑑賞する機会を拡充します。 ・アーティスト・イン・レジデンス(滞在型創作活動)を推進するとともに、芸術祭の開催により、現代アートを中心とした創作活動や作品を鑑賞する機会を拡充します。 |
|-------|--|

| | |
|--------|--|
| 事業・取組名 | ・教育委員会運営費(全国大会等で活躍した児童・生徒等に対する教育長表彰) ・鳥取県文化芸術活動支援補助金 ・鳥取県文化団体連合会活動支援事業 ・新生とりアート事業 ・鳥取県美術展覧会開催事業 ・とっとり伝統芸能まつり開催事業 ・アーティスト滞在促進事業 ・アーティストリゾートとっとり芸術祭開催事業 ・アーティストリゾート推進事業 ・芸術鑑賞教室開催補助金 ・鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業 |
|--------|--|

最終評価

| | | | |
|---------|---|--------------------|--|
| 担当課自己評価 | B | ほぼ計画(予定)どおり推進している。 | 評価理由 【教育総務課】(教育委員会運営費(全国大会等で活躍した児童・生徒等に対する教育長表彰)) ◇76名(小学生29名、中学生9名、高校生38名)の児童生徒へ、「全国大会等で活躍した児童・生徒に対する教育長表彰」を行った。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ①アーティスト・イン・レジデンスの取組については、本県の先導的な団体である「鳥の劇場」のほかにも、県内各地で活動が着実に定着してきている。H27年度の鳥取藝住祭には6市町で10団体が参加し、6月20日から11月29日の間に県内各地で県外アーティストが参画した地域イベントが開催され、延べ12,631人が訪れ、全県的にアーティストインレジデンスの機運を高めることができた。 ②文化・芸術を発表する機会の拡充については、鳥取県総合芸術文化祭でメイン事業として倉吉地区で11月15日にオペラ「魔笛」の公演が行われるとともに、各地区事業が10月31日から3月7日の間に延べ19,041人の来場者を集めて行われるなど、全県的に多くの県民に自ら文化・芸術を発表・鑑賞する機会を提供することができた。 |
|---------|---|--------------------|--|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| 【教育総務課】(教育委員会運営費(全国大会等で活躍した児童・生徒等に対する教育長表彰)) ◇76名(小学生29名、中学生9名、高校生38名)の児童生徒へ、「全国大会等で活躍した児童・生徒に対する教育長表彰」を行った。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ①アーティスト・イン・レジデンスの取組については、鳥の劇場を中心とした鳥の演劇祭の開催の支援をするとともに、鳥取藝住祭の開催を支援した。 ②文化・芸術を発表する機会の拡充については、鳥取県総合芸術文化祭を開催するなど、各種の発表機会を提供した。 | 【教育総務課】(教育委員会運営費(全国大会等で活躍した児童・生徒等に対する教育長表彰)) ◇76名(小学生29名、中学生9名、高校生38名)児童生徒へ、「全国大会等で活躍した児童・生徒に対する教育長表彰」を行った。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ①アーティスト・イン・レジデンスの取組については、本県の先導的な団体である「鳥の劇場」のほかにも、県内各地で活動事例が確実に定着してきている。H27年度の鳥取藝住祭には6市町で10団体が参加し、6月20日から11月29日の間に県内各地で県外アーティストが参画した地域イベントが開催され、延べ12,631人が訪れ、全県的にアーティストインレジデンスの機運を高めることができた。 ②文化・芸術を発表する機会の拡充については、鳥取県総合芸術文化祭でメイン事業として倉吉地区で11月15日にオペラ「魔笛」の公演が行われるとともに、各地区事業が10月31日から3月7日の間に延べ19,041人の来場者を集めて行われるなど、全県的に多くの県民に自ら文化・芸術を発表・鑑賞する機会を提供することができた。 |

課題及び今後の取組

| 課題 | 今後の取組 |
|---|---|
| <p>【教育総務課】(教育委員会運営費(全国大会等で活躍した児童・生徒等に対する教育長表彰))</p> <p>◇関係機関と連携しながら、円滑に事業を実施していく。</p> <p>【地域振興部 文化政策課(知事部局)】</p> <p>①アーティストインレジデンスの取組については、県内各地で文化・芸術を活用した地域振興の機運が高まってきていることから、今後は各地区の進展段階に応じた適切な支援を行っていく必要がある。</p> <p>②文化芸術を発表する機会の拡充については、引き続き鳥取県総合芸術文化祭、県展等をはじめとする発表の機会の場を提供していく必要がある。</p> | <p>【教育総務課】(教育委員会運営費(全国大会等で活躍した児童・生徒等に対する教育長表彰))</p> <p>◇関係機関と連携しながら、円滑に事業を実施していく。</p> <p>【地域振興部 文化政策課(知事部局)】</p> <p>①県内各地の進展状況に応じ、次年度から、移住の実現が近く先導的なモデル地区(工芸・アート村)、発展途上にある地区など、進展段階に対応した支援制度を新たに整備することで、国内外のアーティストが移り住み鳥取の豊かな自然の中で創作活動を行う「アートピアとっとり」の実現を図っていく。</p> <p>②県民に引き続き鳥取県総合芸術文化祭、県展等で発表・鑑賞の機会を提供していくとともに、アーティストインレジデンスの取組との相互連携などで、広報の充実を図り、参加者の拡大を図っていく。</p> |

②文化、芸術に触れ、豊かな感性を育てる機会の確保

| 取組の方向 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校等との連携により、教育現場や地域で、子どもたちや若者が文化、芸術に触れ、感性を高め、創造力を育成する機会を確保し、文化、芸術活動を活性化します。 ・鳥取県文化団体連合会の活動支援などにより、県民が文化に親しめる環境を整えます。 ・平成26年度に開催される全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会を機に、特別支援学校における芸術文化活動を一層進めます。 ・平成27年度に、近畿高等学校総合文化祭を鳥取県で開催し、日頃取り組んでいる芸術文化活動の成果を発表し合い、高め合い、交流を深めるとともに、これを契機として文化部活動の一層のレベルアップ、活性化を進めます。 |

| 事業・取組名 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・あいサポート・特別支援学校合同文化祭開催事業 ・共生社会をめざす文化・芸術活動支援事業 ・文化芸術活動支援事業 ・近畿高等学校総合文化祭鳥取大会開催事業 ・高校生まんが・メディア芸術活動事業 ・鳥取県文化団体連合会活動支援事業 ・新生とっとりアート事業 ・芸術鑑賞教室開催補助金 ・鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業 ・「とっとりアートスタート」推進事業 ・鳥取県障がい者アート推進事業 |

最終評価

| 担当課 自己評価 | 評価理由 |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">A</p> <p>目的・目標を達成した。</p> | <p>【特別支援教育課】</p> <p>◇特別支援学校合同文化祭を開催し、県民への理解啓発を進めることができた。</p> <p>◇近畿高等学校合同文化祭への参加を通じて、高校生との交流や理解啓発を進めることができた。</p> <p>【高等学校課】</p> <p>◇11月14日～22日に、近畿高等学校総合文化祭鳥取大会を、生徒実行委員会や各部門の生徒が中心となって準備・開催し、多くの参加者を得て成功させることができた。</p> <p>◇近畿高等学校総合文化祭まんが部門を、高校生まんがが王国とっとり応援団生徒が中心となって準備・開催し、1府5県からの参加者を得て成功させることができた。</p> <p>◇特別支援学校生徒との共演などを通じて、鳥取県らしさをアピールすることができた。</p> <p>【地域振興部 文化政策課(知事部局)】</p> <p>◇ジュニア県展に合計5,637点の応募があり、本展示を1月9日から2月12日にかけて、県内3地区で開催した。本県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図ることができた。</p> <p>【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】</p> <p>◇障がい者の芸術・文化活動を引き続き支援していくため、障がい者の芸術・文化活動に関する情報発信拠点として、「サポート・アートインフォメーションセンター」を開設したり、障がい者が取り組む舞台芸術活動(音楽、ダンス、伝統芸能等)の発表と鑑賞の機会を提供するための「あいサポート・アートとっとり祭」を開催したりするなど、計画どおり事業を実施することができた。</p> |

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|--|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| <p>【特別支援教育課】</p> <p>◇県内中学校や高等学校、県外特別支援学校を招聘した特別支援学校合同文化祭を開催した。</p> <p>◇近畿高等学校文化祭に特別支援学校高等部生徒が参加した。</p> <p>【高等学校課】</p> <p>◇企画委員会、実行委員会及び各専門部会等を開催して大会準備・運営を行った。</p> <p>◇生徒実行委員会が考案したプランで手作りのおもてなしを行った。</p> <p>◇生徒実行委員会を中心に、一般県民の来場を促すため、各種広報</p> | <p>【特別支援教育課】</p> <p>◇「障がいを知り、ともに生きる」というテーマに向けて、県民への理解啓発を推進する取り組みにつながった。</p> <p>【高等学校課】</p> <p>◇各部門とも円滑に大会を運営し、参加者、来場者に喜んでもらうことができた。</p> <p>◇総合開会行事は特別支援学校生徒との共演や韓国江原道嶺西高校生との伝統芸能発表、手話を交えた唱歌「ふるさと」の大合唱など、鳥取県らしさを披露し、好評を博した。</p> |

活動を展開した。
 ◇高校生まんが王国とっとり応援団員が、4回のワークショップを開催し、まんが部門大会の開催準備・運営を行った。
 ◇特別支援学校生徒が総合開会行事で高校生と共演したほか、美術・工芸、写真部門にも参加した。
 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】
 ◇本県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図ることを目的として、ジュニア県展を開催した。
 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】
 ◇障がいの芸術・文化活動に関する情報発信拠点として、「サポート・アートインフォメーションセンター」を開設したり、障がい者が取り組む舞台芸術活動(音楽、ダンス、伝統芸能等)の発表と鑑賞の機会を提供するための「あいサポート・アートとっとり祭」を開催したりするなど、障がい者の芸術・文化活動を引き続き支援した。

◇生徒実行委員会の広報活動も功を奏し、目標の15,000人には届かなかったが、直近3年間の和歌山大会、三重大会、福井大会よりも多い、12,275人の参加を得て開催することができた。
 ◇「まんが部門」大会を生徒が主体的に準備・開催し、鳥取県らしさをアピールすることができた。
 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】
 ◇ジュニア県展には5,637点の応募があり、1月9日から2月12日にかけて県内3地区で開催し、県内の児童生徒に発表の機会を提供し美術活動の振興を図ることができた。
 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】
 ◇あいサポート・アートインフォメーションセンターでは、県内外の優れた障がい者アートを展示し、障がい者アートの魅力が広めることができた。
 ◇あいサポート・アートとっとり祭では、舞台発表等を通じて、障がい者と健常者との交流や触れ合いが盛んに行われ、相互理解が深まった。

| 課題及び今後の取組 | |
|---|---|
| 課題 | 今後の取組 |
| 【特別支援教育課】 ◇学校・地域・社会において、日常的に障がいに対する理解啓発を進めていく必要がある。 【高等学校課】 ◇高校生の活躍を県民の皆様に見ていただいたが、より多くの方々に御覧いただくために、広報の方法を工夫する必要がある。 ◇今回、各部門大会運営の中心となったのは、定年前の先生が多かったため、後継者の育成が必要である。 ◇近畿高総文祭史上初で、鳥取県が独自開催した「まんが部門」大会の成果の維持・発展。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇多数の子供たちに引き続き発表の場を提供できるよう、学校と連携を図りながら、ジュニア県展を開催していく。 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】 ◇障がいのある方が継続して芸術・文化活動に取り組むことができるよう、支援を継続していく必要がある。 | 【特別支援教育課】 ◇特別支援学校の児童生徒が発表する機会や場を継続して検討する。 【高等学校課】 ◇一般県民の来場を促すため、公民館や公共施設等での広報を強化するように引き継ぐ。 ◇「優秀指導者招へい事業」「文化部指導者養成事業」を継続し、各部門で次代を担う教員が事業を企画したり、外部の優秀な指導者となったり、自ら指導技術を高める機会を提供する。 ◇鳥取県高等学校文化連盟に新設された「まんが専門部」の主体的な活動を支援する。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子供たちが夏休みを利用して制作活動ができるよう、早期の案内を図っていく。 【福祉保健部 障がい福祉課(知事部局)】 ◇障がいのある方の芸術・文化活動を、継続して支援していく。 |

③文化、芸術が生活の一部となる生活スタイルの定着

| |
|---|
| 取組の方向 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・アートスタート事業等により、子どもの頃から文化、芸術に触れる機会を拡充し、文化、芸術が生活の一部となる生活スタイルの浸透を促進します。 ・空き店舗、廃校、公民館などを活用し、地域活動の中で、アートや伝統文化を通じて地域住民が交流する場を設け、アートや伝統文化を活かした地域づくりを進めます。 |

| |
|--------------------|
| 事業・取組名 |
| ・「とっとりアートスタート」推進事業 |

最終評価

| | | |
|-------------|--------------------|---|
| 担当課 自己評価 | B | 評価理由 |
| | ほぼ計画(予定)どおり推進している。 | 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子ども文化芸術体験事業により、小学生向けに地域人材・資源を活用した芸術鑑賞、自然体験などを行う取組を県内2団体に委託して実施した。 ◇次世代鑑賞者育成事業により、未就学児が作品鑑賞等をする機会を提供する団体に延べ19件助成を行った。 ◇これらの取組により、子どもたちに地域に根ざした文化芸術の魅力を伝え、子どもたちの豊かな感性と創造性を育むことができた。 |

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|--|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子ども文化芸術体験事業により、小学生向けに地域人材・資源を活用した芸術鑑賞、自然体験などを行う取組を県内団体に委託して実施した。また、次世代鑑賞者育成事業により、未就学児が作品鑑賞等をする機会を提供する団体に助成を行った。 | 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子ども文化芸術体験事業で県内2団体に委託し、アニメーションについてのワークショップや自然体験などを行うとともに、次世代鑑賞者育成事業では、未就学児が作品鑑賞等をする機会を提供する団体に、延べ19件助成を行い、子供たちに地域に根ざした文化芸術の魅力を伝え、子どもたちの豊かな感性と創造性を育むことができた。 |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子供の芸術文化体験の促進のため、次世代鑑賞者育成支援事業(市町村間接補助事業)の制度を設ける市町村の拡大を図っていく。 | 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇次世代鑑賞者育成支援事業制度の設置について、市町村への働きかけを行っていく。 |

アクションプラン最終評価

| | | |
|-----|------------------|---|
| 所属名 | 教育委員会(事務局) 教育総務課 | <input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関 |
|-----|------------------|---|

項目選択

| | |
|-------|---|
| (1)項目 | 5 文化、伝統の継承、創造、再発見 (18)文化財の保存、活用、伝承 【目指すところ】 ①県民が、鳥取県の歴史や文化を誇りに思い、文化財を大切に作る気運の醸成 ②文化財保護の推進 ③文化遺産の再発掘・磨き上げ |
|-------|---|

①県民が、鳥取県の歴史や文化を誇りに思い、文化財を大切に作る気運の醸成

| | |
|-------|---|
| 取組の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・県民に対し、学校への出前講座や公民館と連携した歴史講座、文化財巡りや現地見学会などにより文化財を知り、接する機会を創出します。こうした取組を通じて、文化財を身近に感じ、親しみを持つことにより、県内の歴史や文化についての理解を深めていきます。 ・伝統芸能や伝統技術(ものづくり)保持者との交流や体験などにより、県民が県内の伝統文化などを学ぶ機会の充実を図ります。 ・「とっとり伝統芸能まつり」の開催などにより、活躍の場や、伝統芸能の体験、鑑賞機会を提供し、次世代に継承していきます。 ・海外の祭事に県内高等学校の郷土芸能部を派遣し、伝統芸能等を披露する機会を設けるとともに、伝統芸能を通じた国際交流を推進します。 |
|-------|---|

| | |
|--------|--|
| 事業・取組名 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信「鳥取県の文化財」 ・伝統芸能等支援事業 ・鳥取県の考古学情報発信事業 ・とっとり伝統芸能まつり開催事業 |
|--------|--|

最終評価

| | | | |
|-------------|---|------|---|
| 担当課 自己評価 | <h1 style="font-size: 2em;">A</h1> <p>目的・目標を達成した。</p> | 評価理由 | <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇H27年度の県指定保護文化財は新規指定8件であり、貴重な文化財の保護が図ることができた。 ◇文化財課ホームページやフェイスブックを充実し、県内文化財の行事や魅力をタイムリーに情報発信を行い、文化財の認知度が向上した。 ◇出前講座や発掘現場での現地説明会などにより、県民が文化財に興味をもち、郷土の文化財に対する理解を深める機会を提供することができた。 ◇むきばんだまつりや青谷上寺地遺跡古代米田植え体験、埋蔵文化財センター古代まつりなどにも多くの方が訪れ、古代文化を学んでいただくことができた。 【埋蔵文化財センター】 ◇「センター見学」への対応、県民の皆様へに古代体験をしていただく「埋蔵文化財センター古代まつり」、県内の遺跡の発掘調査成果を展示公開する「とっとり発掘速報展」を実施した。「埋蔵文化財センター古代まつり」は、昨年度より442人増の914人の来場者があり、アンケートによると好評であった。「とっとり発掘速報展」は、東中西3箇所土器タッチングコーナーを開設し、計1,200人の来場者があった。 ◇考古学情報誌「とっとり考古学紀行」を発行し、県内の遺跡情報、考古学イベント情報等について情報発信した。また、これ以外にもホームページ、フェイスブックでも随時情報発信を行い、タイムリーに情報を提供することができた。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇5月24日に第6回とっとり伝統芸能まつりを開催し、県内5団体が参加したほか、北海道、韓国江原道からも参加を得、多くに来場者を得た。本まつりの開催により、地域伝統芸能の伝承・活用の機運を高めることに寄与することができた。 |
|-------------|---|------|---|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|--|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇県指定保護文化財の新規指定を行った。 ◇文化財に関する情報発信の強化を図った。 ◇出前講座により、地域や学校での文化財への理解を深める機会を提供した。 ◇各種イベントを開催し、文化財に触れる機会を提供した。 【埋蔵文化財センター】 ◇「埋蔵文化財センター古代まつり」、「センター見学」を開催するにあたり、一般の広報に加えて各学校を直接訪問して、周知を図った。 ◇「とっとり発掘速報展」を東中西部で3回実施した。 ◇「とっとり発掘物語展」を埋蔵文化財センターで実施した。 | <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇H27年度県指定保護文化財の新規指定は8件である。 ◇文化財課ホームページやフェイスブックを充実し、県内文化財の行事や魅力をタイムリーに情報発信を行うことができた。 ◇文化財主事が各地の出前講座で講演し、発掘現場で現地説話をを行うなどにより、県民が文化財に興味をもち、郷土の文化財に対する理解を深める機会を提供することができた。 ◇むきばんだまつりや青谷上寺地遺跡古代米田植え体験、埋蔵文化財センター古代まつりなどにも多くの方が来場され、古代文化を学んでいただくことができた。 【埋蔵文化財センター】 |

| | |
|---|--|
| <p>◇考古学情報誌「とっとり考古学紀行」を3回発行した。</p> <p>◇フェイスブックを活用し、リアルタイムで発掘調査中の遺跡や考古学情報について情報発信を行った。</p> <p>【地域振興部 文化政策課(知事部局)】</p> <p>◇5月24日に第6回とっとり伝統芸能まつりを開催し、県内5団体が参加したほか、北海道、韓国江原道からも参加を得、多くに来場者を得た。本まつりの開催により、地域伝統芸能の伝承・活用の機運を高めることに寄与することができた。</p> | <p>◇「埋蔵センター古代まつり」では、古代体験コーナーを12カ所開設し、914人の来場者があった。</p> <p>◇「とっとり発掘速報展」を東部・中部・西部3カ所で各3日間開催し、計約1,200人の来場者があった。</p> <p>◇埋蔵文化財センターで「とっとり発掘物語展」を開催するとともに、常設展示替えも行い、学校教育でより利用しやすい環境を整えた。</p> <p>◇「とっとり考古学紀行」を3回発行した。県内観光施設や鳥取ファンクラブ(県外)、県内のコンビニへ配布し、県内の考古学情報を提供した。</p> <p>【地域振興部 文化政策課(知事部局)】</p> <p>◇参加団体においては、大きな舞台上で伝統芸能を披露する機会となり、芸能伝承を継続していこうという意識がさらに高まった。</p> |
|---|--|

課題及び今後の取組

| 課題 | 今後の取組 |
|--|---|
| <p>【文化財課】</p> <p>◇県内の文化財をもっと知り活用されるよう、市町村や学校、庁内関係部局と連携して取り組む。</p> <p>◇全国にも誇る弥生の二大遺跡である妻木晩田遺跡と青谷上寺地遺跡をさらに活用する。</p> <p>【埋蔵文化財センター】</p> <p>◇学校教育とのさらなる連携を進める。</p> <p>【地域振興部 文化政策課(知事部局)】</p> <p>◇地域で伝統芸能を承継している団体は数多くあり、引き続き伝承を支援していく必要がある。</p> | <p>【文化財課】</p> <p>◇小中学校などと連携し、校外学習等で妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡、伝統的な建造物などの優れた文化財に触れる機会を増やす。</p> <p>◇児童生徒の興味を引き出す授業づくりを考えるための取組(地域の歴史教材の活用等)を行う。</p> <p>【埋蔵文化財センター】</p> <p>◇各学校へのより一層のPRを進めるとともに、学校教育と連携した展示、教材の作成及び利用方法の検討を進める。</p> <p>【地域振興部 文化政策課(知事部局)】</p> <p>◇今後も引き続き本祭りのような機会の提供を継続し、伝統芸能の継承をはかっていく必要がある。</p> |

2 ②文化財保護の推進

| |
|---|
| <p>取組の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内文化財の調査研究を進め、学術的な評価を行い、指定等に向けて積極的に取り組みます。 ・県内の貴重な文化財を犯罪や災害から守るため、所有者や地域住民等の意識啓発を進めるとともに、防災、防犯施設等の整備を促進します。 ・地域の身近な文化財を訪れる楽しさを伝えるとともに、祭り行事などの身近な無形民俗文化財を地域で伝承していく活動を支援します。 ・妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡をはじめとする県内の史跡、名勝等を県民が訪ね、楽しめる環境を整備し、活用を促進します。 ・三徳山の世界遺産登録に向けた学術調査の推進により、登録に向けた取組を支援します。 |
|---|

| |
|--|
| <p>事業・取組名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興費 ・調査研究「鳥取県の文化財」 ・鳥取県文化財防災・防犯対策事業 ・文化財保護指導費 ・文化財助成費 ・伝統芸能等支援事業 ・銃砲刀剣類登録審査事業 ・池田家墓所整備活用促進事業 ・青谷上寺地遺跡史跡指定地公有化・維持管理事業 ・受託発掘調査事業(山陰道「鳥取西道路」) ・青谷上寺地遺跡発掘調査事業 ・青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業 ・埋蔵文化財センター運営費 ・埋蔵文化財専門職員研修事業 ・妻木晩田遺跡調査整備事業(保存整備) ・妻木晩田遺跡調査整備事業(発掘調査) ・妻木晩田遺跡維持管理事業 ・未来に引き継ごう！県民の歴史資産「三徳山」調査活用推進事業 |
|--|

最終評価

| | |
|--|---|
| <p>担当課 自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>目的・目標を達成した。</p> | <p>評価理由</p> <p>【文化財課】</p> <p>◇H27年度の県指定保護文化財は新規指定8件であり、貴重な文化財の保護が図ることができた。</p> <p>◇文化財課ホームページやフェイスブックを充実し、県内文化財の行事や魅力をタイムリーに情報発信を行い、文化財の認知度が向上した。</p> <p>◇出前講座や発掘現場での現地説明会などにより、県民が文化財に興味をもち、郷土の文化財に対する理解を深める機会を提供することができた。</p> <p>◇むきばんだまつりや青谷上寺地遺跡古代米田植え体験、埋蔵文化財センター古代まつりなどにも多くの方が訪れ、古代文化を学んでいただくことができた。</p> <p>【埋蔵文化財センター】</p> <p>◇出土品の整理・調査研究及び土曜講座を実施し、多くの方々に青谷上寺地遺跡の最新の調査研究成果を発信することができた。</p> <p>◇研修会を3回開催し、県内の埋蔵文化財関係者の専門知識と技能の向上の場をつくることができた。</p> <p>【むきばんだ史跡公園】</p> <p>◇各事業とも予定どおり実施することができ、来園者が安心して快適に楽しめる環境を整えることができた。</p> <p>【観光交流局 観光戦略課(知事部局)】</p> <p>◇文化財等学習会開催助成事業補助金による支援を行った。また、三徳山マップを30,000部増刷した。</p> |
|--|---|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|--|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| <p>【文化財課】 ◇県指定保護文化財の新規指定を行った。 ◇文化財に関する情報発信の強化を図った。 ◇H26年度より、地域や学校での文化財への理解を深める機会を提供した。 ◇各種イベントを開催し、文化財に触れる機会を提供した。 ◇H26年度から4ヶ年計画で因幡の麒麟獅子舞調査を行っている。</p> <p>【埋蔵文化財センター】 <青谷上寺地遺跡関係> ◇史跡整備に伴う発掘調査計画を見直した。 ◇出土品の整理・調査研究、土曜講座を6回開催した。</p> <p><専門職員研修> ◇6月に「遺跡調査検討課程」、1月に「発掘技術検討課程」、3月に「遺物調査検討課程」を実施した。</p> <p>【むきばんだ史跡公園】 <保存整備> ◇園路追加整備工事(遊歩道の新設、管理道の舗装)、復元建物修理工事の実施。 ◇松尾城管理道舗装工事は国補助金の査定により進度調整とした。</p> <p><発掘調査> ◇墳墓域の実態解明のため仙谷地区西側丘陵で仙谷8号墓・9号墓の調査を実施した。</p> <p><維持管理> ◇史跡公園内を安全かつ快適に見学できるように維持管理を行った。</p> <p><来園者増対策> ◇教育旅行誘致協議会に参加し教育旅行の誘致を目指した。観光キャンペーンへの参加</p> <p>【観光交流局 観光戦略課(知事部局)】 ◇随時情報発信を行った。 ◇文化資産等学習会開催助成事業補助金について、地域、ホームページ等でPRし、活用を推進を図った。 ◇首都圏をはじめ各観光イベントにおいて、三徳山マップを配布した。 ◇日本遺産認定について、倉吉駅においてポスター、広告塔掲出によりPR実施。併せて、三徳山及び三朝温泉の周景整備を実施した。</p> | <p>【文化財課】 ◇H27年度県指定保護文化財の新規指定は8件である。 ◇文化財課ホームページやフェイスブックを充実し、県内文化財の行事や魅力をタイムリーに情報発信を行うことができた。 ◇文化財課が各地の出前講座で講演し、発掘現場で現地説会を行うなどにより、県民が文化財に興味をもち、郷土の文化財に対する理解を深める機会を提供することができた。 ◇むきばんだまつりや青谷上寺地遺跡古代米田植え体験、埋蔵文化財センター古代まつりなどにも多くの方が来場され、古代文化を学んでいただくことができた。</p> <p>【埋蔵文化財センター】 <青谷上寺地遺跡関係> ◇H28年度から、史跡整備事業が本格的にスタートすることを見据え、整備計画と密接に関連した調査計画を策定することができた。 ◇石器・木器の再整理を行い、データベースを作成・拡充して公開した。また、石器については調査研究報告書を刊行した。調査研究成果を大勢の方が利用しやすい形で情報発信することができた。 ◇土曜講座を6回(うち1回は特別講演会)実施した。参加者数は延べ345名であり、昨年度(184名)より大幅に増加した。青谷上寺地遺跡の最新の調査研究成果と魅力を大勢の方々に発信することができた。</p> <p><専門職員研修> ◇「遺跡調査検討課程」では約80名、「発掘技術検討課程」では約30名、「遺物調査検討課程」では約30名の参加者があり、専門知識と技能の習得・向上を図ることができた。</p> <p>【むきばんだ史跡公園】 <保存整備> ◇歩道と管理車両等が通行する管理道が共用となっていた部分に園路を追加整備したことで、歩行者が史跡公園を安全に散策することができるようになった。また、未舗装だった管理道を舗装したことで、シルバーカー等を安全に運行することができるようになった。併せて、傷みが生じていた復元建物を修理したことで、史跡公園の景観および復元建物内部の見学環境が向上した。</p> <p><発掘調査> ◇仙谷8号墓・9号墓が、妻木晩田遺跡終焉期にあたる古墳時代前期初頭の墳丘墓であることが明らかになった。この時期の墳丘墓は、妻木晩田遺跡では初めての発見となる。 ◇仙谷8号墓の埋葬施設を高い精度で復旧することができた。</p> <p><来園者増対策> ◇東京本部、関西本部、県観光連盟と連携し、千葉県(三井アウトレックパーク木更津)、大阪市(あべのハルカス)で県の観光PRとともに、当史跡公園のPRをすることができた。特に大阪では弥生体験(勾玉づくりや鏡づくりなど)を無料で提供し家族連れのお客様が終日賑わい好評を得た。当史跡公園を周知するよいきっかけとなった。 ◇教育旅行誘致については、大阪での商談会に参加し、旅行会社や学校に当史跡公園での「教育的な体験メニュー」をPRした。</p> <p>【観光交流局 観光戦略課(知事部局)】 ◇文化資産等学習会開催助成事業補助金による支援、また、三徳山マップを増刷、配布した。 ◇三徳山・三朝温泉への道路標識案内の充実を図り、周辺と協調した工作物の設置を行った。</p> |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| <p>【文化財課】 ◇文化財の新規指定・登録を行う。 ◇各種イベントを開催し、文化財に触れる機会を提供する。</p> <p>【埋蔵文化財センター】 <青谷上寺地遺跡関係> ◇整備事業をスタートさせるに当たり、青谷上寺地遺跡に対する地元の見学・関心の掘り起しを行う。 ◇青谷上寺地遺跡土曜講座、特別講演の参加者増につながる広報の実施。</p> <p><専門職員研修> ◇現在の発掘調査に必要な情報を研修に取り込むこと。 ◇専門職員研修のうち「遺跡調査検討課程」は、発掘調査の成果の紹介を含むことから、一般県民も対象者に含めていたため、専門職員の資質向上の観点からは研修内容が不十分な面がある。</p> <p>【むきばんだ史跡公園】 <保存整備> ◇所謂、第2期整備にかかる整備・活用のあり方の検討。 ◇復元建物修理工事に係る中長期的な修繕計画・追加整備計画の策定、及び資材(茅材)の安定的な調達方法の検討。</p> <p><発掘調査> ◇仙谷9号墓墳裾出土土器の検討及び松尾頭墳丘墓群の実態解明。 ◇妻木晩田遺跡の評価を考える上で、これまで未確認であった谷部の実態解明。 ◇第Ⅱ期調査の成果と、今後の史跡の整備、活用計画を踏まえた調査計画の検討。</p> | <p>【文化財課】 ◇文化財指定に向け、継続的に文化財の学術的評価を行う。 ◇小中学校などと連携し、校外学習等で妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡、伝統的な建造物などの優れた文化財に触れる機会を増やす。 ◇児童生徒の興味を引き出す授業づくりを考えるための取組(地域の歴史教材の活用等)を行う。</p> <p>【埋蔵文化財センター】 <青谷上寺地遺跡関係> ◇発掘調査や土曜講座などさまざまな情報発信の場を利用して、整備事業の進捗や完成イメージを発信する。 ◇大勢の方が参加しやすい講座・講演のテーマ選定を工夫するとともに、インターネット、SNS等の効果的な活用を進める。 ◇発掘調査方法等についての最新情報を県内外から収集する。</p> <p><専門職員研修> ◇専門職員研修「遺跡調査検討課程」は、専門職員のみを対象を限定し、研修内容をより高度なものとするとともに、一般県民向けの講演会を別途開催する。</p> <p>【むきばんだ史跡公園】 <保存整備・維持管理> ◇常に危機管理意識を持ち、危険箇所がないか点検を行い、来園者がより快適、安全に活動できる環境を整える。</p> <p><発掘調査> ◇発掘調査委員会の意見を聞きながら、調査計画に基づき発掘調査を行う。また、調査成果に基づき随時計画の見直しを行う。</p> <p><来園者増対策></p> |

| | |
|---|--|
| <p><維持管理> ◇効率的な維持管理計画の作成。 <来園者増対策> ◇情報発信には取り組んでいるつもりだが、首都圏、関西圏においては当史跡公園の認知度は低い。ターゲットを絞った効果的な情報発信の研究が必要。 【観光交流局 観光戦略課(知事部局)】 ◇文化資産等学習会開催助成事業補助金のPR。 ◇日本遺産としての三徳山・三朝温泉の活用。</p> | <p>◇タイムリーかつ効果的な広報活動を行うための研修を行う。 ◇教育旅行誘致協議会に参加し教育旅行の誘致を目指す。 ◇県外本部や県観光連盟と連携し、情報発信を行う。 ◇来園者のニーズを意識したイベントや講座の改善を行う。 【観光交流局 観光戦略課(知事部局)】 ◇NPO、自治公民館等へ周知を図る。 ◇地元団体、役場と連携を図る。</p> |
|---|--|

③文化遺産の再発掘・磨き上げ

| |
|--|
| <p>取組の方向</p> <p>・たたらや鉄道遺産などの県内の優れた文化遺産を地域振興や教育活動に活用するため、その魅力の再発掘を行い、より効果的な活用方法を講じるとともに、地域での取組を支援します。 ・「とっとり弥生の王国」を「考古学」の観点だけでなく、「考現学」という観点から新たな磨き上げを行うことで、考古学ファンだけでなく新たなファン層の開拓を図ります。併せて、学校教育でも新たな学習教材などを作成することで、歴史だけでなく他の学習領域での活用を目指します。</p> |
| <p>事業・取組名</p> <p>・「ふるさとを元気に」ととりの文化遺産活用推進事業 ・「とっとり弥生の王国」普及活用事業 ・「とっとりアートスタート」推進事業 ・祝！三徳山・三朝温泉日本遺産初認定記念事業</p> |

最終評価

| | | |
|--|-------------|--|
| <p>担当課 自己評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>目的・目標を達成した。</p> | <p>評価理由</p> | <p>【文化財課】 ◇文化財課ホームページやフェイスブックを充実させ、県内文化財の行事や魅力をタイムリーに情報発信を行うことで、文化財の認知度を向上させることができた。 ◇むきばんだまつりや青谷上寺地遺跡古代米田植え体験、埋蔵文化財センター古代まつりなどに多くの方が訪れ、古代文化を学んでいただくことができた。 ◇ふるさと未来創造塾や弥生の考現学を通して、子どもたちに歴史文化のすばらしさ、面白さを伝えることができた。 ◇三徳山・三朝温泉が日本遺産第1号に認定され、国内外に三徳山・三朝温泉の素晴らしい歴史文化を伝えることができた。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子ども文化芸術体験事業により、小学生向けに地域人材・資源を活用した芸術鑑賞、自然体験などを行う取組を県内2団体に委託して実施した。 ◇次世代鑑賞者育成事業により、未就学児が作品鑑賞等をする機会を提供する団体に延べ19件助成を行った。 ◇これらの取組により、子供たちに地域に根ざした文化芸術の魅力を伝え、子どもたちの豊かな感性と創造性を育むことができた。</p> |
|--|-------------|--|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|--|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| <p>【文化財課】 ◇文化財課ホームページやフェイスブックを充実させた。 ◇ふるさと未来創造塾や弥生の考現学、各種イベントを開催し、文化財に触れる機会を提供した。 ◇日本遺産に認定された三徳山・三朝温泉の認知度向上を図った。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子ども文化芸術体験事業により、小学生向けに地域人材・資源を活用した芸術鑑賞、自然体験などを行う取組を県内団体に委託して実施した。 ◇次世代鑑賞者育成事業により、未就学児が作品鑑賞等をする機会を提供する団体に助成を行った。</p> | <p>【文化財課】 ◇文化財課ホームページやフェイスブックを充実させ、県内文化財の行事や魅力をタイムリーに情報発信を行うことができた。 ◇むきばんだまつりや青谷上寺地遺跡古代米田植え体験、埋蔵文化財センター古代まつりなどに多くの方が来場され、古代文化を学んでいただくことができた。 ◇ふるさと未来創造塾や弥生の考現学を通して、子どもたちに歴史文化のすばらしさ、面白さを伝えることができた。 ◇東京・大阪で三朝学講座を開催し、日本遺産(三徳山・三朝温泉)への理解が深まった。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子ども文化芸術体験事業で県内2団体に委託し、アニメーションについてのワークショップや自然体験などを行うとともに、次世代鑑賞者育成事業では、未就学児が作品鑑賞等をする機会を提供する団体に延べ19件助成を行い、子供たちに地域に根ざした文化芸術の魅力を伝え、子どもたちの豊かな感性と創造性を育むことができた。</p> |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| <p>【文化財課】 ◇県内の優れた文化遺産の掘り起こし、磨き上げを行う。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇子供の芸術文化体験の促進のため、次世代鑑賞者育成支援事業(市町村間接補助事業)の制度を設ける市町村の拡大を図っていく。</p> | <p>【文化財課】 ◇市町村等と連携し、埋もれている文化遺産の掘り起こし、磨き上げを行う。 【地域振興部 文化政策課(知事部局)】 ◇次世代鑑賞者育成支援事業制度の設置について、市町村への働きかけを行っていく。</p> |

アクションプラン最終評価

| | | |
|-----|------------------|---|
| 所属名 | 教育委員会(事務局) 教育総務課 | <input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関 |
|-----|------------------|---|

項目選択!

| | |
|-------|--|
| (1)項目 | 鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制 (1)県民との協働による計画の推進 【目指すところ】 ①県民意見の把握と開かれた教育の推進 ②教育問題等への迅速かつ的確な対応 |
|-------|--|

①県民意見の把握と開かれた教育の推進

| | |
|-------|--|
| 取組の方向 | |
|-------|--|

| | |
|--------|--|
| 事業・取組名 | ・知りたい！聞きたい！開かれた教育づくり事業 ・教育委員会費 ・教育委員会運営費 ・教育企画費 |
|--------|--|

最終評価

| | | | |
|-------------|----------|------|---|
| 担当課 自己評価 | B | 評価理由 | 【教育総務課】 ◇教育委員による学校訪問を行い、学校現場の課題等の把握に努めた。 また、教育委員会会議の議事録や教員委員リレーコラムをホームページで公開するなど積極的な情報公開に努めた。 ◇教育だより「とっとり夢ひろば！」を年5回発行、幼稚園、保育所から高校までの全保護者等へ配布した。 ◇H27年度からの事業となる「鳥取県の教育を語る会」を、9月9日に伯耆町で、11月24日に南部町で開催し、教育現場に携わる方達と直接意見交換をすることで、現場が抱える課題、県への要望を聞くことができ、また、県の取組等についても伝えることができた。 |
|-------------|----------|------|---|

| | |
|--------|---|
| 有識者の意見 | <p><評価全体について></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全体としては、しっかりと取組と成果、課題が記述してあるので、妥当な評価であると思う。 ◇特に「特別支援教育」については、県をあげて取組の充実がなされていると感じた。 ◇多岐にわたる取組を熱心に行い、成果を出していることがよく理解できた。 ◇平成26年度に評価「B」だったものを評価「A」に上げた項目については、相当な努力があったことと思う。 ◇可能な限り、数値目標を掲げて評価した方が、客観的な評価につながると感じた。 ◇「A」が13、「B」が66、「C」が5、「D」が0だった。関係者のモチベーション低下への配慮もあり、「C」「D」はつけにくいと思うが、将来に向けた改善のためには、どういったことが不十分で、どの点に今後力を入れていかなければならないかが明確になった方が良いと考える。素直な自己評価を基に「C」「D」をつけることがあっても良いのではないかと。ただ、大切なのは、その根拠を示すことである。 平成27年度は、高等学校で「主権者教育」が始まったが、これから「将来の主権者」を育成するために、根拠を示してものを考える姿勢を教育界全体が持つことが一層求められる。 ◇H27最終評価が比較的低いと感じた分野は、「C」評価が含まれる目標2「学が意欲を高める学校教育の推進」と、目標3「学校を支える教育環境の充実」である。この分野は、学校教育の基礎となる学力向上と教育環境の分野でもあるので、今後も特に力を入れて取組む必要を感じる。 <p><鳥取県教育振興基本計画について></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「はじめに」の冒頭に、県が中長期的に取り組むべき教育課題や目指すべき姿の共通認識とその実現に向けた取組の方向性にかかわる社会情勢の変化等について書かれているが、これが各課、学校現場等で共通理解されているか。各課の取組の方向性として、各施策・事業のベースとなっているか。 ◇アクションプランにおける「目指すところ」の文言の違いが気になる。 たとえば、「〇〇の充実」、「〇〇の推進」、「〇〇の向上」などはわかるが、「〇〇への取組」とか、「教職員の過重負担・多忙感」などは、「目指すところ」ではない。自己評価を「目指すところ」への到達状況を元にしていないことから、文言を修正すべきではないか。 |
|--------|---|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| 【教育総務課】 ◇学校現場のニーズや課題意識を把握するため、教育委員による学校訪問を行い、教職員と意見交換を実施した。(9月18日:倉吉東高校、10月5日予定:青翔開智高校) ◇教育委員が県立学校の取組や状況をより把握するため、教育委員会の開催時に、教育委員と県立学校長の意見交換会を実施した。(5月14日:岩美高校) ◇教育委員会の情報公開については、毎月、ホームページで教育委員会議事録を公開している。また、教育委員リレーコラムを継続的に取 | 【教育総務課】 ◇教育委員の学校訪問、教育委員と県立学校長との意見交換会等により、学校現場の課題・ニーズの把握に努めるとともに、教育委員会会議の議事録や教員委員リレーコラムをホームページで公開するなど積極的な情報公開に努めている。 ◇教育だより「とっとり夢ひろば！」を、幼稚園、保育所から高校までの全保護者等へ配布することにより、本県の教育について情報を発信することができた。 ◇「鳥取県の教育を語る会」では、教育現場に携わる方達と直接意見 |

り組んでいる。(全委員が年1~2回実施予定)。
 ◇教育委員による学校訪問の機会を充実させるため、エキスパート教員の授業視察や県立学校の入学式等の積極的な参加を続けている。
 ◇教育だより「とっとり夢ひろば!」を年5回発行、幼稚園、保育所から高校までの全保護者等へ配布した。
 ◇H27年度からの事業となる「鳥取県の教育を語る会」を、9月9日に伯耆町で、11月24日に南部町で開催した。
 ◇ホームページ等を活用し、鳥取県の教育施策等についての情報発信に努めた。

交換をすることで、現場が抱える課題、県への要望を聞くことができ、また、県の取組等についても伝えることができた。

| 課題及び今後の取組 | |
|--|--|
| 課題 | 今後の取組 |
| 【教育総務課】 ◇教育委員の活動について、より一層の充実を図りながら、積極的に県民への情報提供に努める。 ◇県の教育施策、特色ある各学校の取組等の、効果的な情報発信の方法。 ◇現場の声の教育行政への反映と、現場に対し県施策への理解を求めていくこと。 | 【教育総務課】 ◇教育委員の活動の充実を図るため、引き続き学校訪問、意見交換会等を行い、現場の課題・ニーズを把握するとともに、教育委員の活動内容等を県民に情報提供することに努める。 ◇ホームページ、教育だより「とっとり夢ひろば!」等を活用し、県の教育施策、特色ある取組等について、引き続き情報発信していく。 ◇「鳥取県の教育を語る会」について、引き続き各市町村の日程調整等をし、順次開催していく。 |

②教育問題等への迅速かつ的確な対応

| | |
|--------|--------------------|
| 取組の方向 | — |
| 事業・取組名 | ・教育委員会費 ・教育審議会費 |

最終評価

| | | | |
|--------------------|----------|------|--|
| 担当課 自己評価 | B | 評価理由 | 【教育総務課】 ◇開催した教育委員会について、議事録をなるべく早くホームページに掲載する等、情報公開に努めている。 ◇鳥取県教育審議会では、平成27年2月に諮問された「とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について」について、生涯学習分科会で審議を進め、11月に答申をまとめ、提出した。 |
| ほぼ計画(予定)どおり推進している。 | | | |

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|--|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| 【教育総務課】 ◇開催した教育委員会について、議事録をなるべく早くホームページに掲載する等、情報公開に努めている。 ◇鳥取県教育審議会では、平成27年2月に諮問された「とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について」について、生涯学習分科会で審議を進め、11月に答申をまとめ、提出した。 | 【教育総務課】 ◇開催した教育委員会について、議事録をなるべく早くホームページに掲載する等、迅速な情報公開に努めることができた。 ◇鳥取県教育審議会では、平成27年2月に諮問された「とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について」について、生涯学習分科会で審議を進め、11月に答申をまとめ、提出した。 |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| 【教育総務課】 ◇教育委員会の議事録の公開等、迅速な情報公開。 ◇鳥取県教育審議会での、各教育分野に詳しい方たちによる、県教育施策の審議、提案等を、県教育行政へ反映していくこと。 | 【教育総務課】 ◇引き続き、教育委員会の議事録の公開等、迅速な情報公開に努めること。 ◇鳥取県教育審議会での、各教育分野に詳しい方たちによる、県教育施策の審議、提案等を、県教育行政へ反映するよう努めること。 |

アクションプラン最終評価

| | | |
|-----|------------------|---|
| 所属名 | 教育委員会(事務局) 教育総務課 | <input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関 |
|-----|------------------|---|

項目選択

| | |
|-------|---|
| (1)項目 | 鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制 (2)市町村、国、高等教育機関など関係機関との連携・協力の推進 【目指すところ】 ①市町村との連携・協力体制の充実 ②高等教育機関との連携、協力の一層の推進 |
|-------|---|

①市町村との連携・協力体制の充実

| | |
|-------|---|
| 取組の方向 | - |
|-------|---|

| | |
|---------------------------------|---|
| 事業・取組名 | - |
| ・教育企画費 ・チャレンジする市町村を応援する教育交付金 | |

最終評価

| | | | |
|-------------|--------------------|------|--|
| 担当課 自己評価 | B | 評価理由 | 【教育総務課】 ◇市町村との連携・協力の充実については、必要に応じて会議等の場を設け、情報交換、意見交換を行っている。 |
| | ほぼ計画(予定)どおり推進している。 | | |

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|--|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| 【教育総務課】 ◇4月10日、11月2日に市町村教育行政連絡協議会を開催し、情報共有、意見交換を行った。 ◇教育委員の資質向上のため、8月4日に委員研修会を開催した。 ◇市町村教育長の集まる機会をとらえ、県の教育施策の方針、考え等を示し、協力、連携して施策を進めていただくよう呼びかけてきた。 ◇申請のあった1団体へ、「チャレンジする市町村を応援する教育交付金」による助成を行った。 | 【教育総務課】 ◇8月の研修会では「コミュニティスクール～教育再生実行会議提言と現状～」について外部講師を招き講演していただき、分科会では、タイムリーなテーマを掲げ、意見交換を行った。 ◇各種会議、研修の際に各市町村教育委員会からの要望、意見等を把握することができた。 |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| 【教育総務課】 ◇引き続き、関係機関と情報を共有しながら、現場の意見の吸い上げや課題の洗い出しなど、鳥取県教育の充実に向けて、必要な連携体制をとっていくことが必要。 | 【教育総務課】 ◇研修、会議の内容については、引続き市町村の要望を聞きながらタイムリーなテーマについて検討できる場としていきたい。 ◇「チャレンジする市町村を応援する教育交付金」は、平成28年度以降は廃止。 |

②高等教育機関との連携、協力の一層の推進

| | |
|-------|---|
| 取組の方向 | - |
|-------|---|

| | |
|--|---|
| 事業・取組名 | - |
| ・教育企画費 ・外部人材活用事業 ・鳥取県版キャリア教育推進事業 ・公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金 ・鳥取県環境学術研究等振興事業 ・未来に役立つ「ものづくり教育」実践事業 | |

最終評価

| | | | |
|--|--|------|---|
| | | 評価理由 | 【教育総務課】 ◇高等教育機関と定期的に意見交換を行い、情報を共有する等、高等教育機関との連携を推進している。 【高等学校課】 |
|--|--|------|---|

| | | |
|---------------------|---|--|
| <p>担当課 自己評価</p> | <p style="text-align: center;">B</p> <p>ほぼ計画(予定)どおり推進している。</p> | <p>評価理由</p> <p>◇各校で、社会人や地元大学教員等による講義を実施し、地域社会と連携した教育を進めている。 ◇社会人から講義を受けることによって、生徒が健全な社会人となるための自覚を高めた。 ◇学校の中に地域住民が入り込むこととなり、教職員と地域住民との相互理解が促進された。 ◇大学教員から最先端の学問や研究内容、大学での授業内容等について講義を受け、高校生の知的好奇心を高めるきっかけとなっている。 【地域振興部 教育・学術振興課(知事部局)】 ◇鳥取環境大学をはじめ県内高等教育機関の研究・教育内容を充実するための助成を通じ、県と高等教育機関の連携を深めると同時に人材育成を推進した。</p> |
|---------------------|---|--|

平成27年度の取組状況と成果等

| 平成27年度の取組と成果 | |
|---|---|
| 平成27年度の取組(年度末現在) | 成果 |
| <p>【教育総務課】 ◇鳥取大学、鳥根大学、鳥取環境大学と意見交換を行い、情報共有を図った。 ◇学生教育ボランティアについて、大学等へ募集情報等の情報提供を行い、教職を希望する学生の取り組みを推進した。 【高等学校課】 ◇各校で、先端技術や各教科に関する専門分野の優れた知識・技能を有する一般の社会人や大学教員等による講義を実施した。 ◇キャリア教育推進協力企業制度を創設し、高校のキャリア教育に理解のある地元企業を募った。 【地域振興部 教育・学術振興課(知事部局)】 ◇環境大学へ計画通り運営交付金を交付した。 ◇県内の高等教育機関から環境学術研究等助成に応募のあったの学術研究を審査し、採択となったものに助成を行った。 ◇Fablabとっりの開設・運営、中高生向けのものづくり体験研修、ものづくり指導者育成のための助成を実施した。</p> | <p>【教育総務課】 ◇5月21日、鳥取大学と意見交換を行い、情報共有を図った。 ◇10月13日、鳥取環境大学と意見交換を行い、情報共有を図った。 ◇鳥根大学の「山陰教師教育コンソーシアム」設置及び「教職大学院」設立に向けて、大学、鳥根県と連携しながら準備を進めた。 ◇学生教育ボランティアについて、大学等へ募集情報等の情報提供を行い、教職を希望する学生の取り組みを推進した。 【高等学校課】 ◇社会人から講義を受けることによって、生徒が健全な社会人となるための自覚を高めた。 ◇学校の中に地域住民が入り込むこととなり、教職員と地域住民との相互理解が促進された。 ◇大学教員から最先端の学問や研究内容、大学での授業内容等について講義を受け、高校生の知的好奇心を高めるきっかけになっている。 ◇キャリア教育推進協力企業を113社認定、インターンシップや企業からの講師派遣等によるキャリア教育への支援が充実。 【地域振興部 教育・学術振興課(知事部局)】 ◇環境大の教育環境の充実円滑な運営を支援することができた。 ◇県内高等教育機関の学術研究、人材育成を支援することができた。 ◇鳥取大学、民間企業、鳥取市等と連携し、児童生徒を中心にもものづくりの楽しさを知る機会を提供することができた。</p> |
| 課題及び今後の取組 | |
| 課題 | 今後の取組 |
| <p>【教育総務課】 ◇意見交換された課題の解決に向けて検討していくことが必要。 ◇学生教育ボランティアについて、多くの教育施設、学生等へ利用していただくこと。 【高等学校課】 ◇優れた知識・技能を有する講師の継続的な確保。 ◇継続した地元企業や大学との連携。 【地域振興部 教育・学術振興課(知事部局)】 <未来に役立つ「ものづくり教育」実践事業> ◇ものづくり人材の発達過程を通じて、各段階に切れ目のない良質なものづくり学習の機会が継続して提供されることが大切で、そのために先ずは、公教育の中で大きなウエイトを占める公立小中高で、ものづくり技術教育の充実が必要だが、すぐに教育現場の理解を得ることは困難。</p> | <p>【教育総務課】 ◇意見交換された課題解決策を検討していく。 ◇学生教育ボランティアについて、多くの教育施設、学生等へ利用していただくよう、制度について引き続き周知していく。 【高等学校課】 ◇企業や大学等と連携を強化し、各高校での取組を支援する。 ◇キャリア教育推進協力企業制度の啓発・普及。 【地域振興部 教育・学術振興課(知事部局)】 <地域に役立つ「学びの場とっり」創生事業> ◇ものづくり教育実践の日常的拠点がない等の課題を解決するため、鳥取大学や鳥取環境大学などが産学官協働で取り組む「ものづくり協力会議」が行う次世代のものづくりインフラと目されるFabLab(ファブラボ:個人による自由なものづくりの可能性を広げるための実験工房)のモデル設置を支援し、普及のためのイベントを開催することとなった。 ◇一気通貫の「ものづくり教育」実践の課題を発見するために、H27年度に引き続き、中・高校生が対象の試行錯誤を通じて創造力を育むモデル研修を実施する。 ◇「ものづくり協力会議」が、東中西部で運営する「ものづくり道場」の指導者養成等の取組を支援(補助)する。 <公立大学法人公立鳥取環境大学運営費交付金> ◇設立団体として、大学運営への適切な指導・関与を継続していくとともに、就職率の向上や志願者の安定的確保などの重要な課題に連携して取り組んでいくことが必要である。</p> |

参考: 数値目標一覧

| 目標 1 社会全体で学び続ける環境づくり | | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 指 標 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H30 目標値 |
| 1 心とからだいきいきキャンペーンによる取組率(就学前児童) | | | | | |
| 望ましい生活習慣が大切だと思ふ保護者の割合 | 94.2% | 97.4% | 97.3% | 96.5% | 100% |
| 望ましい生活習慣の定着に取り組んでいる割合 | 81.9% | 93.5% | 96.2% | 95.0% | 90% |
| 2 自治会単位の「人権学習会(小地域懇談会)」で事後研修を取り入れている市町村 | 11市町村 | 11市町村 | 11市町村 | 11市町村 | 19市町村 (全市町村) |
| 3 「鳥取県家庭教育推進協力企業」協定締結企業数 | 562社 | 570社 | 571社 | 580社 | 700社 |
| 4 学校支援ボランティア登録者数 | 約6,000人 | 6,074人 | 6,625人 | 6,940人 | 7,000人 |
| 5 小、中学校における「子育て親育ちプログラム」を活用した講座実施校数 | 13校 | 22校 | 14校 | 10校 | 70校 |
| 6 「とっとりマスター」認定者数 | - | 10人 | 10人 | 10人 | 20人 |
| 7 県立博物館の入館者数 | 11.1万人 | 8.9万人 | 8.4万人 | 12.2万人 | 10万人 |
| 8 公立図書館の個人貸出冊数(人口一人あたり) | 4.9冊 | 5.3冊 | 5.6冊 | H28.8確定見込 | 6冊 |

| 目標 2 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 | | | | | | |
|---|--|-----------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----|
| 指 標 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H30 目標値 | |
| 1 小学校教員による保育所・幼稚園での保育体験研修の実施 | 15市町村 | 15市町村 | 16市町村 | 16市町村 | 19市町村 (全市町村) | |
| 2 幼稚園、保育所及び小学校の連絡協議会の設置や、教職員の交流の機会の設定 | 83.6% | 85.8% | 90.1% | 84.0% | 全ての小学校 区で実施 | |
| 3 「子どもの育ちを支えるための資料(保育所児童保育要録)」の作成と小学校への送付 | 100% | 100% | 100% | 100% | 全ての保育所 で実施 | |
| 4 子どもたちの学びの質の向上 | | | | | | |
| 観点① 豊かに生きる、共に生きる力の状況 | | | | | | |
| (1) 自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識 | 「ボランティア活動に参加している」児童生徒の増加 | - | (小6)44.5% (中3)52.8% (高2)23.0% | (小6)-(※1) (中3)-(※1) (高2)25.8% | (小6)-(※1) (中3)-(※1) (高2)25.8% | 向上 |
| | 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の増加 | - | (小6)76.3% (中3)65.9% (高2)53.9% | (小6)78.1% (中3)68.1% (高2)61.4% | (小6)77.2% (中3)69.1% (高2)58.8% | 向上 |
| (2) 進路に向けた意識 | 「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加 | - | (小6)85.3% (中3)70.9% (高2)77.1% | (小6)85.9% (中3)69.4% (高2)76.7% | (小6)84.9% (中3)70.6% (高2)75.3% | 向上 |
| | 「『あの人のようになりたい』と思う人がいる」児童生徒の増加 | - | (小6)77.5% (中3)71.3% | (小6)-(※1) (中3)-(※1) (高2)- | (小6)-(※1) (中3)-(※1) (高2)- | 向上 |
| | 「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加 | - | (高2)67.2% | (高2)69.0% | (高2)66.9% | 向上 |
| (3) 地域社会への参画状況 | 「地域の行事に参加している」児童生徒の増加 | - | (小6)79.1% (中3)48.7% (高2)30.8% | (小6)83.2% (中3)52.2% (高2)38.6% | (小6)81.5% (中3)53.9% (高2)36.0% | 向上 |
| | 「地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)から褒められたことがある」児童生徒の増加 | - | (小6)64.8% (中3)52.7% | (小6)-(※1) (中3)-(※1) (高2)- | (小6)-(※1) (中3)-(※1) (高2)- | 向上 |

| 指 | 標 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H30 目標値 | |
|---------------------------|--|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------|-----|
| 観点②: 学び方の質・学習状況 | | | | | | | |
| (4) 意欲、授業に向かう姿勢 | 「身に付けた知識・技能や経験を生活の中で活用できないか考える」児童生徒の増加(算数・数学) | - | (小6)65.1% (中3)35.9% | (小6)64.9% (中3)39.2% | (小6)64.8% (中6)40.4% | 向上 | |
| | 「授業の中で『わかった』、学んだことについて『もっと知りたい』と感じる」児童生徒の増加 | - | (小6)84.4% (中3)78.3% | (小6)84.5% (中3)80.1% | (小)84.9% (中)84.8% | 向上 | |
| | 「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加 | - | (高2)69.4% | (高2)69.9% | (高2)70.9% | 向上 | |
| | 「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」学校の増加 | - | (小)95.3% (中)92.0% | (小)95.5% (中)93.7% | (小)96.2% (中)92.1% | 向上 | |
| | 「教員の増加 | - | (高)89.6% | (高)90.2% | (高2)89.9% | 向上 | |
| (5) 体験活動・読書活動の実施状況 | 「授業で体験的な学習を取り入れている」学校の増加 | - | (小)92.6% (中)77.5% | (小)89.4% (中)78.1% | (小)92.5% (中)76.9% | 向上 | |
| | 「全校一斉読書に取り組む」学校の増加 | - | (小)100% (中)95.3% (高)79.2% | (小)99.3% (中)92.0% (高)83.3% | (小)99.3% (中)90.5% (高)83.3% | 向上 | |
| | 「読書が好きである」児童生徒の増加 | - | (小6)74.7% (中3)73.0% (高2)68.2% | (小6)75.5% (中3)73.2% (高2)64.8% | (小6)74.5% (中3)72.1% (高2)66.0% | 向上 | |
| (6) (6) 家庭における学習等の状況 | 「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加 | - | (小6)61.8% (中3)46.2% (高2)39.4% | (小6)65.3% (中3)47.1% (高2)37.9% | (小6)64.9% (中3)50.2% (高2)39.4% | 向上 | |
| | 「進んで取り組んでいることをほめている」保護者の増加 | - | (小6)84.6% (中3)76.9% | (小6)-(※1) (中3)-(※1) | (小)-(※1) (中)-(※1) | 向上 | |
| | 児童生徒に対する国語・算数(数学)の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加 | - | (小)98.5% (中)62.0% | (小)97.0% (中)87.3% | (小)94.8% (中)68.2% | 向上 | |
| 観点③: 学力調査の状況 | | | | | | | |
| (7) 上位層の増加、下位層の減少 | 全国学力・学習状況調査でA層で全国平均を上回り、D層で全国平均を下回った教科 | - | (小、中)100% | (小、中)75% | (小、中)65% | 向上 | |
| (8) 過去の調査と同一問題の正答率の増加 | 全国学力・学習状況調査で過去の問題と同一問題のうち、正答率が全国平均を上回った割合 | - | (小、中)77.8% | (小、中)44.4% | (小、中)71.4% | 向上 | |
| (9) 無解答率の減少(特に「活用」に関する問題) | 全国学力・学習状況調査で記述式の問題のうち無解答率が全国平均以下であった割合 | - | (小、中)77.8% | (小、中)70.6% | (小、中)66.7% | 向上 | |
| (10) 各校が設定した指標の達成 | 各校が達成したと評価する割合 | - | (高)58.3% | (高)50.0% | (高)54.2% | 向上 | |
| 5 | 個別の教育支援計画の作成割合(公立幼、小、中、高) | 84.1% | 84.6% | 87.9% | 89.0% | 100% | |
| 6 | 個別の指導計画の作成割合(公立幼、小、中、高) | 95.6% | 96.9% | 96.9% | 98.7% | 100% | |
| 7 | 中学校から高等学校への個別の教育支援計画の引継率 | - | 71.8% | 93.1% | 100% | 100% | |
| 8 | 特別支援学校高等部(専攻科含む)卒業生の就職率の向上 | 就職希望者に対する割合 | 78.5% | 73.6% | 77.4% | 79.7% | 向上 |
| | 卒業生に対する割合 | 35.7% | 33.9% | 38.1% | 45.4% | 向上 | |
| 9 | 該当障がい種に関する特別支援学校免許状保有率の向上 | 特別支援学校教職員 | 74.8% | 76.1% | 76.8% | 81.9% | 90% |
| | 特別支援学級教員 | 40.8% | 40.5% | 39.0% | 40.5% | 45% | |
| 10 | 教員のICT活用指導力調査における児童・生徒のICT活用を指導する能力 | 鳥取県59.0% 全国 63.7% | 鳥取県57.0% 全国 64.5% | 県56.7% 全国65.2% | H28.9確定見込 | 全国平均値 | |

| 指 標 | | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H30 目標値 |
|-------------------------|---|--|--|--|--|----------------------------------|
| 11 | 情報モラル教育の実施 | (小)98.5% (中)95.0% (高)100% | (小)100% (中)100% (高)100% | (小)100% (中)98.3% (高)100% | (小)99.2% (中)96.5% (高)100% | 100% 100% 100% |
| 12 | 環境教育全体計画の作成及び改善 | (小)64.9% (中)35.0% | (小)62.7% (中)40.7% | (小)70.2% (中)44.1% | (小)67.9% (中)47.4% | 100% 100% |
| 13 | 学校のTEASⅡ・Ⅲ種(鳥取県版環境管理システム)取得の促進(高=Ⅱ種、小、中、特=Ⅲ種) | (小)14.2% (中)13.3% (高)100% (特)100% | (小)6.0% (中)5.1% (高)100% (特)100% | (小)13.4% (中)15.3% (高)100% (特)100% | (小)11.5% (中)8.8% (高)100% (特)100% | 25% 30% 100% 100% |
| 14 全国学力・学習状況調査質問紙調査での回答 | | | | | | |
| | ◇新聞やテレビのニュースなどに関心を持つ児童生徒の増加 | - | (小6)63.5% (中3)64.8% | (小6)-(※1) (中3)-(※1) | (小6)-(※1) (中3)-(※1) | 向上 |
| | ◇人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の増加 | - | (小6)94.5% (中3)94.6% | (小6)94.6% (中3)94.9% | (小6)94.4% (中3)94.2% | 向上 |
| 15 | 小、中学校で「道徳の時間」の授業の公開状況 | (小)100% (中)88.3% | (小)99.3% (中)91.6% | (小)98.5% (中)91.5% | (小)97.7% (中)86.0% | 100% |
| 16 | 「参加型」人権学習に取り組んだ学校の率 | (小)55% (中)63% | (小)61% (中)70% | (小)66.4% (中)78.0% | (小)66.4% (中)68.4% | 100% |
| 17 | 児童生徒が文化芸術に触れる機会を持った割合 | (小)97.8% (中)83.3% | (小)97.0% (中)81.0% | (小)100% (中)100% | (小)100% (中)100% | 100% |
| 18 | 不登校の出現率 | (小) 全国0.32% 県0.37% (中) 全国2.58% 県2.31% (高) 全国1.93% 県2.10% | (小) 全国0.36% 県0.42% (中) 全国2.69% 県2.31% (高) 全国1.88% 県1.76% | (小) 全国0.39% 県0.45% (中) 全国2.76% 県2.65% (高) 全国1.81% 県1.26% | H28.9確定見込 | 全国平均を下 回ると共に、 低減 |
| 19 | 学校いじめ防止基本 方針の状況 | 策定した学校の割合 | - | - | 100% | 100.0% |
| | | 取組検証した学校の割合(H27以降) | - | - | - | (小)73.3% (中)70.2% |
| 20 | 鳥取県体力・運動能力調査結果の総合判定(A~Eの5段階)が、A又はBの割合 | - | (小5男)38.4% (小5女)46.0% (中2男)33.0% (中2女)59.8% | (小5男)38.4% (小5女)43.1% (中2男)37.4% (中2女)63.3% | (小5男)37.9% (小5女)44.6% (中2男)34.7% (中2女)61.4% | 50.0% 55.0% 50.0% 65.0% |
| 21 | 小学校において、体育の授業を除く1日の運動時間が1時間以上の児童の割合 | - | (小5男)68.6% (小5女)48.0% | (小5男)65.0% (小5女)48.8% | (小5男)68.2% (小5女)49.5% | 70.0% |
| 22 | 学校保健委員会を年2回以上開催する学校の割合 | (小)64% (中)42% (高)13% (特)0% | (小)65% (中)34% (高)13% (特)20% | (小)60% (中)36% (高)17% (特)20% | (小)61% (中)42% (高)13% (特)10% | 100% 80% 60% 50% |
| 23 | 中学、高校における薬物乱用防止教室の開催率 | (中)82% (高)79% | (中)75% (高)79% | (中)75% (高)100% | (中)93% (高)100% | 100% 100% |
| 24 | 「食に関する指導年間計画」の作成率(年6回以上) | (小)87% (中)52% (特)55% (高)13% | (小)90% (中)58% (特)60% (高)17% | (小)89% (中)61% (特)60% (高)21% | (小)92% (中)83% (特)70% (高)17% | 100% 100% 100% 50% |
| 25 | 食育の日(毎月19日)の取組状況 | - | (小)30% (中)26% (特)40% (高)4% | (小)39% (中)31% (特)40% (高)0% | (小)42% (中)39% (特)40% (高)4% | (小)100% (中)100% (特)100% |
| 26 | 学校給食用食材の県産品利用率 | 71% | 71% | 73% | 71% | 70%以上 |
| 27 | 県産品利用率70%以上の市町村、県立学校 | 81% | 市町村84% 県20% | 市町村89% 県20% | 市町村89% 県17% | 100% |
| 28 | 栄養教諭の配置拡大 | - | 19人 | 21人 | 21人 | 31人 |

| 目標 3: 学校を支える教育環境の充実 | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|--|------------------------------|-----|
| 指 標 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H30 目標値 | |
| 1 学校評価制度(学校関係者評価)実施率 | (幼)80.0% (小)96.3% (中)98.3% (県立)100% | (幼)83.3% (小)100% (中)100% (県立)100% | (幼)100% (小)100% (中)100% (県立)100% | (幼)100% (小)100% (中)100% (県立)100% | 100% 100% 100% 100% | |
| 2 学校評価制度(学校関係者評価)公表率 | (幼)100% (小)75.2% (中)74.6% (県立)100% | (幼)83.3% (小)74.6% (中)67.8% (県立)100% | (幼)100% (小)68.7% (中)71.2% (県立)100% | (幼)100% (小)67.2% (中)64.9% (県立)100% | 100% 100% 100% 100% | |
| 3 教員の精神性疾患による休職者数の出現率 | 0.51% | 0.61% | 0.49% | 0.45% | 0.5%以下 | |
| 4 公立学校の耐震化率の向上 | - | (幼)100% (小、中)81.9% (高)87.1% (特)100% | (幼)100% (小、中)87.0% (高)92.7% (特)100% | (幼)100% (小、中)91.7% (高)94.4% (特)100% | 100% 100% 100% 100% | |
| 5 「鳥取型防災教育の手引き」の活用率(小学校) | - | 52.0% | 51.5% | 44.0% | 100% | |
| 6 不審者対応訓練(教職員対象)の実施率 | (小)67.0% (中)11.0% (高)25.0% (特)89.0% | (小)66.0% (中)15.0% (高)21.0% (特)80.0% | (小)53.8% (中)62.3% (高)45.8% (特)70.0% | (小)86.0% (中)19.0% (高)8.0% (特)70.0% | 100% 85% 60% 100% | |
| 7 育英奨学資金の現年 調定の返還率 | 高校 | 89.3% | 89.7% | 88.4% | H28.7確定見込 | 90% |
| | 大学 | 97.5% | 97.6% | 97.8% | H28.7確定見込 | 98% |

| 目標 4: 生涯にわたって運動・スポーツに親しむ環境づくり | | | | | | |
|------------------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------|
| 指 標 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H30 目標値 | |
| 1 成人のスポーツ実施率(週1回以上)(※2) | 55.5%<H21> | - | 54.8% | - | 65.0% | |
| 2 国民体育大会で入賞 (8位以内)する種目数 及び人数 | 種目数 | - | 38種目 | 46種目 | 39種目 | 50種目 |
| | 人数 | - | 74人 | 113人 | 70人 | 120人 |

| 目標 5: 文化、伝統の継承、創造、再発見 | | | | | |
|---|-----------|-------------------|-----------|-----------|------------|
| 指 標 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H30 目標値 |
| 1 文化・芸術、スポーツ等の分野で、全国で活躍する児童・生徒数(全国3位以上)(年間) | 57人 | 64人 | 82人 | 76人 | 60人 |
| 2 県指定文化財の新規指定件数(期間中) | - | 合計31件 <H21~25> | 6件 | 8件 | 合計15件 |
| 3 妻木晩田遺跡来場者数(年間) | 33,032人 | 28,027人 | 33,220人 | 36,366人 | 50,000人 |
| 4 青谷上寺地遺跡展示館来場者数(年間) | 7,698人 | 8,427人 | 9,061人 | 9,669人 | 20,000人 |

(※1)H26全国学力・学習状況調査では該当の質問項目がなかったためデータなし

(※2)5年に一度の調査

III 条例、規則の制定・改廃

| 区分 番号 | 公布・施行 年月日 | 題 名 | 概 要 |
|------------|---|---|--|
| 条例 第4号 | 公26. 12. 24 施27. 4. 1 文化財課 | 鳥取県立むきばんだ史跡公園の 設置及び管理に関する条例の一 部改正について | 鳥取県行政財産使用料条例の一部 改正に伴い、体験学習室の使用料 を改正する。 |
| 条例 第38号 | 公27. 6. 30 施27. 6. 30 社会教育課 ※ただし、第5 条を加える改正 規定並びに第6 条第2項及び別 表の改正規定 は、平成28年4 月1日から施行 する。 | 鳥取県立青少年社会教育施設の 設置及び管理に関する条例の一 部を改正する条例 | 鳥取県立青少年社会教育施設への 指定管理者制度を導入に伴い、所 要の改正を行った。 |
| 条例 第17号 | 公28. 3. 25 施28. 4. 1 高等学校課 | 鳥取県附属機関条例の一部を改 正する条例 | 「鳥取県スーパーサイエンスハイ スクール運営指導委員会」、「鳥取 県立智頭農林高等学校運営指導委 員会」及び「鳥取県立境港総合技 術高等学校運営指導委員会」を新 設。 |
| 条例 第31号 | 公28. 3. 25 施28. 4. 1 博物館 | 鳥取県立博物館の設置及び管理 に関する条例の一部を改正する 条例 | 山陰海岸学習館についてジオパー クの拠点としての体制整備を図る ことに伴い、博物館から分離独立 させるため所要の改正を行った。 |
| 規則 第5号 | 公27. 6. 30 施27. 6. 30 社会教育課 ※ただし、第2 条及び及び第4 条の規程は、平 成28年4月1日か ら施行する。 | 鳥取県立大山青年の家の管理運 営に関する規則及び鳥取県立船 上山少年自然の家の管理運営に 関する規則の一部を改正する規 則 | 鳥取県立青少年社会教育施設の設 置及び管理に関する条例の一部改 正に伴い、所要の改正を行った。 |
| 規則 第6号 | 公27. 8. 28 施28. 4. 1 高等学校課 | 鳥取県立学校管理規則の一部を 改正する規則 | 智頭農林高等学校に「ふるさと創 造科」を設置する。 |
| 規則 第7号 | 公27. 10. 23 施27. 10. 23 特別支援教 育課 | 鳥取県立学校管理規則の一部を 改正する規則 | 特別支援学校に置くことができる 職に、学校看護師長、学校看護主 幹、学校看護主任及び学校看護師 を加えた。 |
| 規則 第8号 | 公27. 12. 24 施28. 1. 1 教育総務課 | 現業職員の給与に関する規則の 一部を改正する規則 | 現業職員の給与の改正を行った。 |
| 規則 第1号 | 公28. 3. 25 施28. 3. 25 教育総務課 | 鳥取県特定個人情報情報の利用及び 提供に関する条例に基づき個人 番号を利用する事務を定める規 則 | 鳥取県特定個人情報情報の利用及び提 供に関する条例に基づき個人番号 を利用する事務について定めた。 |

| | | | |
|-----------|----------------------------------|--------------------------------------|--|
| 規則 第2号 | 公28. 3. 25 施28. 4. 1 教育総務課 | 平成28年4月1日の教育委員会規則の整備に関する規則 | 鳥取県教育委員会会議規則の一部、鳥取県教育委員会事務局等組織規則の一部、鳥取県教育委員会事務局の職の設置等に関する規則の一部、鳥取県教育センターの管理運営に関する規則の一部、鳥取県立大山青年の家の管理運営に関する規則の一部、鳥取県立船上山少年自然の家の管理運営に関する規則の一部、鳥取県教育委員会の権限に属する事務のうち市町村が処理する事務の範囲を定める規則の一部、日本国籍を有しない者を任用することができない職の範囲を定める規則の一部を改正した。 |
| 規則 第3号 | 公28. 3. 25 施28. 4. 1 教育総務課 | 現業職員就業規則の一部を改正する規則 | 現業職員就業規則の一部の改正を行った。 |
| 規則 第4号 | 公28. 3. 25 施28. 4. 1 小中学校課 | 鳥取県教育職員の免許状の有効期間の更新等に関する規則の一部を改正する規則 | 引用する法令の改正の伴い様式を改めた。 |
| 規則 第5号 | 公28. 3. 25 施28. 4. 1 博物館 | 鳥取県立博物館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 | 鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正に伴い、所要の改正を行った。 |
| 訓令 第1号 | 公28. 2. 12 施28. 4. 1 教育総務課 | 鳥取県教育委員会職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令 | 鳥取県教育委員会職員安全衛生管理規程の一部を改正に伴い、所要の改正を行った。 |
| 訓令 第2号 | 公28. 3. 25 施28. 4. 1 教育総務課 | 鳥取県教育委員会事務処理権限規程の一部を改正する訓令 | 鳥取県教育委員会事務処理権限規程の一部を改正した。 |

IV 附属機関の開催状況

(1) 鳥取県総合教育会議〔教育総務課〕※主管はとっとり元気戦略課（知事部局）

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 6 | 29 | 1 第1回総合教育会議 (1) 会議運営について (2) 有識者委員の任命について (3) 大綱の策定について |
| 27 | 9 | 7 | 2 第2回総合教育会議 ＜報告事項＞ (1) 平成27年度全国学力・学習状況調査結果について (2) 特別支援教育における医療的ケア実施体制について ＜意見交換＞ (1) 有識者委員からの新たな取組へのアイデア等 |
| 28 | 1 | 20 | 3 第3回総合教育会議 ＜報告事項＞ (1) 「平成31年度以降の高等学校の在り方に関する基本方針（案）」について (2) いじめ・不登校等への支援体制の充実について ＜意見交換＞ (1) 教育に関する大綱の改定について |

(2) 鳥取県教育審議会〔教育総務課〕

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|---|---|---|-------------|
| | | | 平成27年度の開催なし |

① 鳥取県教育審議会 学校等教育分科会〔高等学校課〕

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|---|---|---|-------------|
| | | | 平成27年度の開催なし |

② 鳥取県教育審議会 学校運営分科会〔小中学校課〕

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|---|---|---|-------------|
| | | | 平成27年度の開催なし |

③ 鳥取県教育審議会 生涯学習分科会兼社会教育委員会議〔社会教育課〕

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--|
| 27 | 5 | 25 | 1 とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について 2 学校支援ボランティアのあり方について |
| 27 | 9 | 1 | 1 とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について 2 鳥取県放課後こども総合プランについて |
| 27 | 11 | 12 | 1 とっとり県民カレッジのあり方及び今後の生涯学習推進施策について |
| 27 | 11 | 17 | 答申：今後の生涯学習振興施策及びとっとり県民カレッジのあり方 |
| 28 | 3 | 7 | 1 平成28年度社会教育関係団体への補助金について 2 今後の生涯学習振興施策及びとっとり県民カレッジのあり方（答申）をうけての取組の方針について 3 青少年社会教育施設の機能強化について 4 鳥取県の社会教育について 5 家庭教育支援チームの取組について |

(3) 鳥取県教科用図書選定審議会〔小中学校課〕

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 4 | 28 | 第1回鳥取県教科用図書選定審議会 1 教科用図書の採択に関する事項についての審議 (1) 平成28年度に使用する中学校教科用図書の採択基準について (2) 平成28年度に使用する中学校教科用図書の選定に必要な資料について (3) 平成28年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について (4) 平成28年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書 (5) 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について (6) 県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択について |
| | 5 | 26 | 第2回鳥取県教科用図書選定審議会 1 教科書の選定に関する調査研究 |
| | 6 | 9 | 第3回鳥取県教科用図書選定審議会 1 教科書の選定に関する調査研究 |
| | 6 | 18 | 第4回鳥取県教科用図書選定審議会 1 教科書（一般図書を含む）の選定に関する調査研究 |

(4) 鳥取県エキスパート教員認定制度に係る選考委員会 [小中学校課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 8 | 27 | 第1回鳥取県エキスパート教員認定制度に係る選考委員会 1 説明 (1) エキスパート教員認定制度について (2) エキスパート教員認定制度の現状について 2 協議 (1) エキスパート教員認定制度の見直しについて |
| 28 | 2 | 26 | 第2回鳥取県エキスパート教員認定制度に係る選考委員会 1 説明 (1) エキスパート教員認定制度について (2) 選考について (3) 平成27年度エキスパート教員認定者の活動状況について 2 報告・協議 (1) 更新者の報告 (2) 候補者の選考 |

(5) 鳥取県就学支援委員会 [特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|---|
| 27 | 11 | 5 | 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査並びに就学指導に関する事項について調査審議 (1件) |
| 27 | 12 | 24 | 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査並びに就学指導に関する事項について調査審議 (9件) |
| 28 | 1 | 21 | 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査並びに就学指導に関する事項について調査審議 (4件) |

(6) ①鳥取県特別支援学校技能検定運営委員会 実施検討部会 [特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 5 | 21 | 1 鳥取県特別支援学校技能検定運営委員会について 2 平成27年度鳥取県特別支援学校技能検定実施について |
| 28 | 2 | 9 | 1 平成28年度鳥取県特別支援学校技能検定について |

②鳥取県特別支援学校技能検定運営委員会 審査部会 [特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 28 | 1 | 14 | ・競技用指導書について ・評価表について ・指導用DVDの作成について |
| 28 | 1 | 20 | ・競技用指導書について ・評価表について ・指導用DVDの作成について |

(7) ①鳥取県特別支援学校通学支援検討委員会白兔養護学校部会

[特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|---|------------------------------|
| 27 | 12 | 9 | 1 部会長の決定 2 自立支援員制度対象生徒の決定 |

②鳥取県特別支援学校通学支援検討委員会倉吉養護学校部会

[特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 7 | 30 | 1 部会長の決定 2 校内通学バス検討委員会協議内容の報告 3 自立支援員制度対象生徒の決定 |
| 28 | 2 | 3 | 1 自立支援員制度活用の状況報告 2 通学バス利用許可基準の見直し 3 来年度通学バス乗車希望者の状況報告 |

③鳥取県特別支援学校通学支援検討委員会米子養護学校部会

[特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--|
| 27 | 12 | 10 | 1 部会長の決定 2 通学バスの運行状況報告 3 自立支援制度対象生徒の決定 |

(8) 鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会 [特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--|
| 27 | 7 | 30 | 1 常勤看護師について 2 医療的ケア実施の判断に係るスーパーバイザーについて |
| 27 | 9 | 4 | 1 常勤看護師について 2 教育支援チーム派遣について 3 医療的ケアが必要な県立特別支援学校幼児児童生徒学習支援事業実施要項の変更点について 4 新たな学びの場について |
| 27 | 10 | 23 | 1 常勤看護師について 2 教育支援チーム派遣について 3 ヒヤリハットの整理について 4 医療的ケアが必要な県立特別支援学校幼児児童生徒学習支援事業実施要項の改正について 5 新たな学びの場について |
| 27 | 11 | 17 | 1 鳥取養護学校の改善状況について 2 ヒヤリハットとアクシデントの整理について 3 医療的ケアが必要な県立特別支援学校幼児児童生徒学習支援事業実要項改正の方向性について 4 新たな学びの場の検討について |
| 28 | 3 | 15 | 1 医療的ケアが必要な県立特別支援学校幼児児童生徒学習支援事業実施要項改正について 2 医療的ケアに係る帳簿の取り扱いについて 3 医療的ケア啓発リーフレットについて |

(9) 鳥取県教職員研修等実施協議会 [教育センター]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--|
| 27 | 6 | 22 | 1 教職員研修について 2 教職員研修以外の事業について |
| 27 | 11 | 12 | 1 平成27年度業務評価及び要望等について 2 平成28年度教職員研修について 3 教職員研修以外の事業について |

(10) 鳥取県英語教育推進会議 [高等学校課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--|
| 27 | 6 | 29 | 1 鳥取県中学校英語の学習到達目標について 2 研究推進校など各校の取組について |
| 27 | 9 | 29 | 1 英語教育推進フォーラムについて 3 CAN-DOリストを活用した授業改善について |
| 27 | 10 | 27 | 英語教育推進フォーラム 1 講演・ワークショップ 2 研究実践発表、指導助言及び講評 |
| 27 | 12 | 22 | 1 CAN-DOリストを活用した授業改善を進めるための方策について 2 本年度のまとめと来年度への提言について |

(11) 鳥取県キャリア教育推進会議 [高等学校課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--|
| 27 | 10 | 20 | 1 報告（平成27年度キャリア教育に関する課事業、先進県視察報告） 2 教育委員会、行政、産業界、高等教育機関等との連携 3 キャリア教育の校内推進体制 |
| 28 | 2 | 26 | 1 報告（平成27年度キャリア教育推進事業実施報告） 2 ワーキンググループからの提言 3 キャリア教育全体計画 |

(12) 鳥取県教育研究開発事業に係る運営指導委員会 [高等学校課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 7 | 31 | 1 平成27年度研究開発実施計画書について 2 学校設定科目「ジオパーク2」の取組について 3 評価の取組について 4 今後の取組について 5 指導助言等 |
| 28 | 8 | 23 | 1 本年度の取組について 2 次年度の取組について 3 指導助言等 |

(13) 鳥取県立学校第三者評価委員会 [高等学校課・特別支援教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|--|
| 27 | 8 | 25 | 1 研修「学校第三者評価について」 2 第三者評価の評価項目及び評価基準について 3 評価チーム 4 分科会（評価対象校の概要及び学校評価の現状） |
| 28 | 2 | 16 | 1 各評価対象校の評価の概要 2 評価書及び評価シート 3 学校の改善計画 |

(14) とっとり県民カレッジ運営委員会 [社会教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|--|
| 27 | 9 | 9 | 1 平成28年度「未来をひらく鳥取学」開催方針について 2 平成28年度「未来をひらく鳥取学」講師選定について |
| 28 | 1 | 13 | 1 「とっとり県民カレッジ」学習記録の管理（入学者個人情報）について 2 平成28年度以降の「とっとり県民カレッジ」の単位認定・奨励について 3 「未来をひらく鳥取学」の開催方法について（講義型、参加型 等） 4 新たな情報発信方法の検討について |

(15) 鳥取県子どもの読書活動推進委員会 [社会教育課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|---|---|---|-------------|
| | | | 平成27年度の開催なし |

(16) 鳥取県立図書館協議会【図書館】

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|--|
| 27 | 7 | 15 | 1 平成26年度事業実績について 2 平成27年度予算及び事業計画について 3 「鳥取県立図書館の図書館像（改定版）」にもとづく図書館の評価について 4 図書館像の中間評価及び見直しについて |
| 28 | 2 | 25 | 1 平成27年度事業の実施状況等について 2 「鳥取県立図書館の図書館像（改定版）」の中間評価について 3 平成28年度予算要求状況及び事業計画について |

(17) 鳥取県育英奨学生選考委員会【人権教育課】

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--------------------------|
| 27 | 6 | 12 | 1 鳥取県育英奨学生（在学申請分）の選考について |
| 27 | 11 | 17 | 1 鳥取県育英奨学生（予約申請分）の選考について |

(18) 鳥取県文化財保護審議会【文化財課】

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 8 | 10 | 1 議案 文化財（考古資料）の指定について 保護文化財（考古資料）「豊成叶林遺跡出土旧石器時代遺物一括」（鳥取市） (2) 文化財（古文書）の指定について 保護文化財（古文書）「瑞仙寺文書」（米子市） (3) 文化財（工芸）の指定について 保護文化財（工芸）「鉄燭台 天文十九年銘 同二十二年銘」（大山町） (4) 保護文化財（建造物）の追加指定について 保護文化財（建造物）「木下家住宅」（鳥取市） (5) 無形文化財（工芸技術）の追加および保持者認定について 無形文化財「陶芸」保持者「山本浩彩」（倉吉市） 2 報告事項 (1) 部会、現地調査の活動状況について (2) 三徳山・三朝温泉の「日本遺産」初認定について (3) 県内文化財建造物の新規国登録について（2箇所） (4) 文化財課の取り組みについて |
| 27 | 2 | 17 | 1 議案 (1) 文化財（考古資料）の指定について 保護文化財（考古資料）「不入岡遺跡古墳時代竪穴住居出土遺物一括」（倉吉市） (2) 文化財（古文書）の指定について 保護文化財（古文書）「光徳寺文書」（琴浦町） (3) 文化財（絵画）の指定について 保護文化財（絵画）「五百羅漢図」（倉吉市） (4) 名勝（庭園）の指定について 名勝（庭園）「西方寺庭園」（若桜町） (5) 無形文化財（工芸技術）の追加および保持者認定について 無形文化財「革工芸」保持者「本池秀夫」（米子市） (6) 文化財（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）の選択について 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「竹内町のオコニヤ」（境港市） 2 報告事項 (1) 鳥取藩台場跡（赤崎台場跡・琴浦町）の国史跡追加指定について (2) 部会、現地調査の活動状況について (3) 文化財課の取り組みについて |

(19) 鳥取県立博物館協議会 [博物館]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 9 | 2 | 1 報告事項 (1) 第1回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要等について (2) 平成27年度鳥取県立博物館事業（平成27年度6月補正予算分）について (3) 平成26年度鳥取県立博物館事業に係る決算状況について 2 協議事項 (1) 平成28年度鳥取県立博物館事業に係る当初予算要求について (2) 鳥取県立博物館改修基本構想作成について |
| 28 | 1 | 25 | 1 報告事項 (1) 第2、第3回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について (2) 平成28年度企画展「宇宙への挑戦～未知への扉をひらくとき～」に係る実行委員会方式での開催について 2 協議事項 (1) 鳥取県立博物館改修基本構想について |

(20) 鳥取県運動部活動推進委員会 [体育保健課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|--|
| 27 | 10 | 19 | 1 平成27年度運動部活動推進事業について 2 外部指導者の単独での指導について 3 顧問教諭の指導力向上について 4 今後の委員会の取組について |
| 28 | 1 | 18 | 1 外部指導者の単独での指導に係る県の取組について 2 平成28年度運動部活動推進事業について |

(21) 鳥取県学校の安全教育推進委員会 [体育保健課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 8 | 5 | 1 報告及び説明 (1) 平成26年度「実践的防災教育総合支援事業」について (2) 平成27年度「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」について 2 協議 (1) 学校防災アドバイザー派遣について (2) 県外視察について |
| 28 | 1 | 26 | 1 報告 (1) 平成27年度「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」について (2) 「学校の防災教育への専門家派遣事業」について (3) 平成28年度「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」について 2 協議 (1) 平成27年度事業の成果と課題について (2) 平成28年度事業の取組内容について |

(22) 鳥取県心や性の健康問題対策協議会 [体育保健課]

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|---|--|
| 27 | 7 | 9 | 1 報告 (1) 平成27年度「鳥取県における思春期保健対策関連事業体系」について (2) 平成27年度「心や性の健康問題対策事業」について 2 協議 (1) 「心や性の健康問題対策事業」の円滑な実施に向けて (2) 心や性の健康教育の推進について |
| 28 | 2 | 4 | 1 報告 (1) 平成27・28年度 「心や性の健康問題対策事業」について (2) 平成27・28年度 関係課実施事業について 2 協議 (1) 「心や性の健康問題対策事業」の円滑な実施及び効果的な実施に向けて (2) 心や性の健康教育の推進について |

(23) 鳥取県子どもの体力向上支援委員会【体育保健課】

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|----|----|---|
| 27 | 10 | 13 | 1 説明・報告 (1) 鳥取県子どもの体力向上支援委員会趣旨説明等 (2) 鳥取県の児童生徒の体力・運動能力の状況 (平成27年度体力・運動能力調査結果等) (3) 鳥取県の体力向上に係る取組 2 協議 (1) 児童生徒の体力・運動能力の課題の分析と解決方法について (2) 体力・運動能力向上に係る具体的な取組について |
| 27 | 12 | 14 | 1 説明・報告 (1) 鳥取県の児童生徒の体力・運動能力の状況 (平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査) (2) 平成27年度鳥取県の体力向上に係る取組について (3) 平成28年度鳥取県の体力向上に係る取組について 2 協議 (1) 児童生徒の体力・運動能力の課題分析と解決のための具体策について |
| 28 | 2 | 2 | 1 説明・報告 (1) これまでの委員会では出された意見に対する対応状況について (2) 平成28年度鳥取県の体力向上に係る取組について 2 協議 (1) 体力・運動能力の課題解決のための具体的な取組について (2) 体力づくり報告書原稿について |

(24) 鳥取県武道指導推進委員会【体育保健課】

| 年 | 月 | 日 | 主 な 内 容 |
|----|---|----|---|
| 27 | 7 | 27 | 1 報告 (1) 文部科学省委託事業の説明 (2) 実施要項についての確認 2 協議 (1) 連盟・コーディネーターとの連携について (2) 外部指導者との連携について (3) 実践校の課題や研究の方向について |
| 28 | 2 | 18 | 1 協議 (1) 実施校より事業実施報告 (2) 平成27年度の成果と課題について 2 その他 (1) 平成27年度事業の周知方法の確認 |

V 参考資料

(1) 教育行政記録

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|----|---|----|---------------------------------------|---------------------------|
| 27 | 4 | 1 | ・ エキスパート教員認定制度7年次（新規認定者を含め93名）を認定 | 小中学校課 特別支援教育課 高等学校課 |
| | | | ・ 県立図書館内に「学校図書館支援センター」を開設 | 図書館 |
| | | | ・ 俳人・尾崎放哉の自筆句稿の常設展示を開始 | 図書館 |
| | | 10 | ・ 第1回県・市町村（学校組合）教育行政連絡協議会 | 教育総務課 |
| | | | ・ 第1回スクールカウンセラー連絡協議会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | ・ 小中学校人権教育主任研究協議会（～7月） | 人権教育課 |
| | | 14 | ・ 第1回特別支援学校運動・スポーツ推進協議会 | 特別支援教育課 |
| | | | ・ 第1回高校生マナーアップさわやか運動（～4/17 約5,000人参加） | 高等学校課 |
| | | 17 | ・ 鳥取県体力・運動能力調査の実施（～7月） 報告8月18日 | 体育保健課 |
| | | 19 | ・ 弥生の森講座①「春の自然を味わおう」 | 文化財課 |
| | | 20 | ・ 人権教育研究推進事業連絡協議会 | 人権教育課 |
| | | 21 | ・ 全国学力・学習状況調査の実施 | 小中学校課 |
| | | 22 | ・ 市町村人権教育・啓発行政担当者会 | 人権教育課 |
| | | 24 | ・ 第1回スクールソーシャルワーカー連絡会議 | 高等学校課 |
| | | | ・ 高等学校・特別支援学校人権教育主任研究協議会 | 人権教育課 |
| | | 25 | ・ むきばんだジュニアファンクラブ（第1回：結団式・弥生土器づくり） | 文化財課 |
| | | 27 | ・ 第1回「学校生活適応支援員」連絡協議会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | ・ 就職支援相談員研修会 | 高等学校課 |
| | | 28 | ・ 第1回鳥取県教科用図書選定審議会 | 小中学校課 特別支援教育課 |
| | | | ・ 平成28年度全国高等学校総合体育大会鳥取県実行委員会設立総会 | 体育保健課 |
| | | 29 | ・ GWはむきばんだ日和！（～5/6） | 文化財課 |
| | | 30 | ・ 高等学校特別支援教育研修会 | 高等学校課 |
| | | | ・ 第1回県立高等学校入試改善研究専門委員会 | 高等学校課 |
| | 5 | 8 | ・ 教務主任連絡協議会 | 高等学校課 |
| | | 10 | ・ 弥生の森講座②「むきばんだ写生教室」 | 文化財課 |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 | |
|----|---|----|---|---|----------------------------------|
| 27 | 5 | 11 | ・ キャリア教育指導者研修会 | 高等学校課 | |
| | | 12 | ・ 中国河北省博物館との交流協議（～5/16） | 博物館 | |
| | | 15 | ・ エキスパート教員連絡協議会 | 小中学校課 高等学校課 特別支援教育課 | |
| | | | | ・ パネル展示「祝！日本遺産認定・三徳山あれこれ展」を開催（～6月29日） | 図書館 |
| | | 16 | ・ むきばんだジュニアファンクラブ（第2回：遺跡の見学・田植え） | 文化財課 | |
| | | | | 企画展「ポーラ美術館コレクション レオナルド・フジタ展－パリへの視線」（～7/5） | 博物館 |
| | | 18 | ・ 進路指導研究協議会（就職の部） | 高等学校課 | |
| | | 20 | ・ 第1回いじめ・不登校対策本部会議 | いじめ・不登校総合対策センター | |
| | | 21 | ・ 鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会（第12回） | 教育総務課 | |
| | | 22 | ・ 鳥取県家庭教育支援者交流研修会（西部地区） | 小中学校課 | |
| | | | | ・ 「手話で学ぶ教育環境整備事業」説明会（西部地区） | 特別支援教育課 |
| | | 23 | ・ 国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第1回 | 文化財課 | |
| | | 24 | ・ 平成27年度伝統芸能功労団体賞知事表彰式（とっとり伝統芸能まつり・米子市） | 文化財課 | |
| | | 25 | ・ 第1回コンプライアンス推進員研修会 | 教育総務課 | |
| | | | | ・ 特別支援教育担当者研修会 | 特別支援教育課 |
| | | | | ・ 就学手続き等に係る連絡協議会 | 特別支援教育課 |
| | | | | ・ 第1回因幡の麒麟獅子舞調査専門部会 | 文化財課 |
| | | | | ・ 鳥取県ヘリテージマネージャー制度立ち上げ準備会 | 文化財課 |
| | | 26 | ・ 第2回鳥取県教科用図書選定審議会 | 小中学校課 | |
| | | | | ・ 「手話で学ぶ教育環境整備事業」説明会（中部地区） | 特別支援教育課 |
| | | 27 | ・ 第1回相談窓口関係機関連絡会議 | いじめ・不登校総合対策センター | |
| | | | | ・ 第1回同和問題等雇用連絡協議会 | 高等学校課 |
| | | 29 | ・ 第1回ファシリテータスキルアップ研修会 | 小中学校課 | |
| | | | | ・ 「手話で学ぶ教育環境整備事業」説明会（東部地区） | 特別支援教育課 |
| | | 30 | ・ 鳥取県高等学校総合体育大会（～6月1日、6月7日） | 体育保健課 | |
| | | 31 | ・ 弥生のもものづくり講座プロフェッショナル編①「青銅鏡づくり」 | 文化財課 | |
| | | | | ・ むきばんだ写生教室作品展（～6/29） | 文化財課 |
| | | 6 | 1 | ・ 第1回 教員の多忙感解消に掛かる市町村立学校対策WG会議 | 小中学校課 |
| | | | | 2 | ・ 乙亥正屋敷廻遺跡出土「巴型銅器」ほか速報展示（あおや郷土館） |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|----|---|----|---|------------------|
| 27 | 6 | 3 | ・ 第1回いじめ問題対策連絡協議会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | ・ 経済4団体への新規高等学校卒業者求人要請訪問 | 高等学校課 |
| | | 4 | ・ 第1回民俗文化財担当者研修 | 文化財課 |
| | | | ・ 学校体育実技講習会（水泳 県営米子屋内プール 35人） | 体育保健課 |
| | | 9 | ・ 第3回鳥取県教科用図書選定審議会 | 小中学校課 |
| | | | ・ 第1回鳥取県人権教育アドバイザー会議 | 人権教育課 |
| | | 11 | ・ 高等学校使用教科書採択事務取扱説明会 | 高等学校課 |
| | | 12 | ・ 教科書展示会（～7/9）県内5ヶ所 | 高等学校課 |
| | | | ・ ケータイ・インターネット教育推進員スキルアップ講座（東部）（委託） | 社会教育課 |
| | | | ・ 第1回鳥取県育英奨学生選考委員会 | 人権教育課 |
| | | 13 | ・ 高校生海外留学・海外体験説明会 | 高等学校課 |
| | | | ・ 「読みメンぱーくinとっとり」を開催（6月13日・14日） | 図書館 |
| | | | ・ むきばんだジュニアファンクラブ（第3回：蚕飼育体験・絹製品製作） | 文化財課 |
| | | 14 | ・ 弥生のもものづくり講座入門編①「弥生の土器づくり」 | 文化財課 |
| | | 15 | ・ 第1回ICT活用教育推進チームPT | 教育センター |
| | | 18 | ・ 第4回鳥取県教科用図書選定審議会 | 小中学校課 特別支援教育課 |
| | | 20 | ・ 土曜自主セミナー（情報モラルと情報セキュリティ教室） | 教育センター |
| | | 22 | ・ 第1回教職員研修等実施協議会 | 教育センター |
| | | | ・ 第1回就職応援本部（高校部会） | 高等学校課 |
| | | | ・ 進路指導研究協議会（進学の一部） | 高等学校課 |
| | | 23 | ・ 第1回学校支援ボランティア研修会（全県） | 小中学校課 |
| | | | ・ ケータイ・インターネット教育推進員スキルアップ講座（西部）（委託） | 社会教育課 |
| | | 25 | ・ 地域と共に創るとっとり人権教育事業第1回人権教育プログラム作成委員会全体会 | 人権教育課 |
| | | 26 | ・ 管理監督者のためのメンタルヘルス研修会及び安全衛生管理者研修会 | 教育総務課 |
| | | | ・ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室に係る安全管理研修会（中部地区） | 小中学校課 |
| | | | ・ 学校体育実技講習会（球技 倉吉市営体育センター 25人） | 体育保健課 |
| | | | ・ 学校体育実技講習会（器械運動 倉吉体育文化会館 17人） | 体育保健課 |
| | | 27 | ・ 土曜自主セミナー（学校で使うためのiPad集中管理法） | 教育センター |
| | | | ・ 第1回とっとりイングリッシュクラブ（中・高校生27人参加、西部） | 高等学校課 |
| | | | ・ 高等学校人権教育推進教員研究協議会 | 人権教育課 |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|----|--|---|---|----------------------|
| 27 | 6 | 27 | ・ 弥生のものでづくり講座プロフェッショナル編②「土器を復元する！」（～6/28） | 文化財課 |
| | | | ・ 埋蔵文化財専門職員研修「遺跡調査検討課程」 | 文化財課 |
| | | 29 | ・ 平成27年度第1回総合教育会議 | 教育総務課 (とっとり元気戦略課) |
| | 7 | 30 | ・ ハラスメント対策担当者研修会 | 教育総務課 |
| | | | ・ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室に係る安全管理研修会（西部地区） | 小中学校課 |
| | | 1 | ・ 第1回ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会（委託） | 社会教育課 |
| | | | ・ 第1回大山青年の家運営委員会 | 社会教育課 |
| | | | ・ 「わくわくドキドキ！夏休み図書館まつり」を開催（～8月30日まで） | 図書館 |
| | | 2 | ・ 公立学校施設整備研修会（倉吉市上井公民館） | 教育環境課 |
| | | 3 | ・ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室に係る安全管理研修会（東部地区） | 小中学校課 |
| | | | ・ 鳥取県学校における防災教育研修会（倉吉体育文化会館53人） | 体育保健課 |
| | | 4 | ・ 第1回鳥取県スポーツ指導者研修会（夢みなとタワー 136人） | 体育保健課 |
| | | 7 | ・ 新任生涯学習・社会教育担当者研修会 | 社会教育課 |
| | | 9 | ・ 土曜授業等実施支援事業連絡協議会 | 小中学校課 |
| | | 11 | ・ とっとり夢プロジェクト選考会 | 高等学校課 |
| | | | ・ 国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第2回 | 文化財課 |
| | | 12 | ・ 「青谷横木遺跡」現地説明会 | 文化財課 |
| | | | ・ 弥生のものでづくり講座プロフェッショナル編③「骨角器を復元する！」 | 文化財課 |
| | | 14 | ・ 平成28年度全国高等学校総合体育大会第1回鳥取県高校生活動推進委員会 | 体育保健課 |
| | | 17 | ・ 鳥取県中学校総合体育大会（～7月19日） | 体育保健課 |
| | | 18 | ・ 企画展「大恐竜展 ～進化と生態のなぞ～」（～8/30） | 博物館 |
| | | 21 | ・ 江原道教育庁との教育交流（8名受入）（～7/24） | 教育総務課 |
| | | 22 | ・ スクールカウンセラー研修会 東部会場 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | 23 | ・ 鳥取県・江原道 児童生徒及び教員の美術作品交流展（交流20周年記念）（～7/26） | 教育総務課 | |
| | 24 | ・ 資料展「戦後70年～昭和から平成へ～」を開催（～8月30日まで） | 図書館 | |
| | | ・ 第1回日本遺産認定第1号「三徳山・三朝温泉」写真展（～7/26） | 文化財課 | |
| | | ・ 来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展 東部展（～7/26） | 文化財課 | |
| 25 | ・ むきばんだジュニアファンクラブ（第4回：青谷上寺地遺跡見学・貝輪づくり） | 文化財課 | | |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|----|---|----|---|--|
| 27 | 7 | 27 | ・ 第1回スクールソーシャルワーカー連絡協議会 ・ 第1回船上山少年自然の家運営委員会 ・ ケータイ・インターネット教育推進員スキルアップ講座（東部）（委託） ・ 第21回鳥取県図書館大会を開催（米子市） | いじめ・不登校総合対策センター 社会教育課 社会教育課 図書館 |
| | | 29 | ・ 第2回スクールソーシャルワーカー連絡会議 ・ 古代と自然探検隊 ・ 第1回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会 | 高等学校課 文化財課 博物館 |
| | | 31 | ・ 弥生の森講座③「夜の昆虫観察会」 ・ 教員のための博物館の日 ・ 学校体育実技講習会（体づくり運動 倉吉体育文化会館 124人） | 文化財課 博物館 体育保健課 |
| | 8 | 1 | ・ 鳥取県PTA協議会教育懇談会 ・ 第1回子ども読書アドバイザー研修会（東部会場） ・ 埋蔵文化財センター古代まつり ・ 弥生の森講座④「昆虫採集」 | 小中学校課 社会教育課 文化財課 文化財課 |
| | | 2 | ・ 環日本海交流室開室20周年・国際交流ライブラリー開設1周年記念事業「本でひらこう世界への扉」を開催 ・ むきばんだサマーナイト「宵まつり」 | 図書館 文化財課 |
| | | 3 | ・ 鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアム プログラミング教室（～8/4） ・ 県高等学校教育課程研究協議会（～8/4） | 教育センター 高等学校課 |
| | | 4 | ・ 市町村（学校組合）教育委員会委員研修会 | 教育総務課 |
| | | 5 | ・ 教育課程研究集会（小学校） | 小中学校課 |
| | | 6 | ・ 教育課程研究集会（中学校） ・ 特別講座「骨から探る弥生人」 ・ ペーパークラフトで‘どうたく’、‘はにわ’を作ろう | 小中学校課 文化財課 文化財課 |
| | | 7 | ・ 新規高等学校等卒業予定者就職問題連絡会議 ・ 第1回指定管理候補者審査委員会 | 高等学校課 社会教育課 |
| | | 8 | ・ 英語キャンプ（～8/10 於：白兔会館 中学生17人、高校生17人参加） ・ 鳥取西道路 夏休み土器・土器！！発掘調査 ・ 弥生のものづくり講座プロフェッショナル編④「土器の野焼き」（～8/9） ・ むきばんだ弥生の国邑写真コンクール表彰作品展（～11/23） | 高等学校課 文化財課 文化財課 文化財課 |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 | |
|----|---|----|--|---|-----------------------|
| 27 | 8 | 8 | ・教育向け講座 自然「自作天体望遠鏡作成」 | 博物館 | |
| | | 10 | ・hyper-QU研修会 いじめ問題の解消につながるhyper-QUの活用の仕方 ・妻木晩田遺跡発掘調査委員会（第26回） ・平成27年度第1回鳥取県文化財保護審議会 | 高等学校課 文化財課 文化財課 | |
| | | 16 | ・サイエンスレクチャー「真鍋真博士講演会」 | 博物館 | |
| | | 19 | ・第2回ICT活用教育推進チームPT | 教育センター | |
| | | 20 | ・科学の甲子園Jr県大会 ・スクールカウンセラー研修会 中部会場 | 小中学校課 いじめ・不登校総合対策センター | |
| | | 21 | ・なりきり弥生人生活 第1パーティー（～8/22） | 文化財課 | |
| | | 22 | ・第2回とっとりイングリッシュクラブ（中・高校生26人参加、中部） ・なりきり弥生人生活 第2パーティー（～8/23） | 高等学校課 文化財課 | |
| | | 24 | ・教育課程研究協議会（幼稚園） | 小中学校課 | |
| | | 25 | ・第1回県立学校第三者評価委員会 | 高等学校課 特別支援教育課 | |
| | | 26 | ・弥生の森講座⑤「星座観察会」 | 文化財課 | |
| | | 27 | ・第1回エキスパート教員選考委員会 | 小中学校課 特別支援教育課 高等学校課 | |
| | | 28 | ・第3回スクールソーシャルワーカー連絡会議 ・第2回日本遺産認定第1号「三徳山・三朝温泉」写真展（～8/30） ・来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展 西部展（～8/30） ・鳥取県学校安全（交通安全・防犯）研修会（倉吉交流プラザ88人） | 高等学校課 文化財課 文化財課 体育保健課 | |
| | | 29 | ・土曜自主セミナー（今すぐ役立つ！ICT支援員に学ぶ『授業づくりを支える情報の集め方』研修） ・むきばんだジュニアファンクラブ（第5回：石包丁づくり・稲刈り） | 教育センター 文化財課 | |
| | | 9 | 1 | ・鳥取県特別支援学校PTA連合会の要望を聞く会 ・地域と共に創るとっとり人権教育事業第2回人権教育プログラム作成委員会全体会 | 特別支援教育課 人権教育課 |
| | | | 2 | ・文化財庭園技術者講習会（第1回） ・平成27年度第1回鳥取県立博物館協議会 | 文化財課 博物館 |
| | | | 5 | ・第2回子ども読書アドバイザー研修会（西部会場） ・連続講座第1回「三徳山・三朝温泉の真実」（～9/6） ・国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第3回 | 社会教育課 文化財課 文化財課 |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 | |
|-----------------------------|------|----|--|---|--------|
| 27 | 9 | 6 | ・ 第2回鳥取県スポーツ指導者研修会 (コカ-Cola杯 鳥取県民体育館 108人) | 体育保健課 | |
| | | 7 | ・ 平成27年度第2回総合教育会議 | 教育総務課 (とっとり元気戦略課) | |
| | | 8 | ・ 第2回高校生マナーアップさわやか運動 (~9/11 約5,000人参加) | 高等学校課 | |
| | | | ・ 第2回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会 | 博物館 | |
| | | 11 | ・ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室指導者等研修会 | 小中学校課 | |
| | | 13 | ・ 高校生英語弁論大会 (生徒20人参加) | 高等学校課 | |
| | | 14 | ・ 鳥取県家庭教育担当者研修会 | 小中学校課 | |
| | | | ・ 鳥取県家庭教育支援者交流研修会 | 小中学校課 | |
| | | 15 | ・ 平成28年度全国高等学校総合体育大会第2回鳥取県高校生活動推進委員会 | 体育保健課 | |
| | | 16 | ・ 教育支援センター「ハートフルスペース」第1回連絡会 | いじめ・不登校総合対策センター | |
| | | 17 | ・ 第1回青谷上寺地遺跡発掘調査委員会 | 文化財課 | |
| | | 18 | ・ 第2回民俗文化財担当者研修 | 文化財課 | |
| | | | ・ 連続講座第2回「三徳山・三朝温泉の真実」 (~9/19) | 文化財課 | |
| | | 20 | ・ 「下坂本清合遺跡」現地説明会 | 文化財課 | |
| | | | ・ 第57回中国・四国ブロック民俗芸能大会 (松江市) | 文化財課 | |
| | | 23 | ・ むきばんだジュニアファンクラブ (第6回: むきばんだまつり収穫祭出演) | 文化財課 | |
| | | | ・ むきばんだまつり | 文化財課 | |
| | | 25 | ・ 湯梨浜町合同研究協議会 | 人権教育課 | |
| | | | ・ 第2回因幡の麒麟獅子舞調査専門部会 | 文化財課 | |
| | | 27 | ・ はくくつ体験教室 | 文化財課 | |
| | | 30 | ・ 第2回 教員の多忙感解消に掛かる市町村立学校対策WG会議 | 小中学校課 | |
| | | 10 | 1 | ・ 第3回ICT活用教育推進チームPT | 教育センター |
| | | | | ・ 「図書館に行こう!本を読もう!キャンペーン」を開催 (~11月30日まで) | 図書館 |
| | | | 2 | ・ 鳥取県立図書館開館25周年記念シンポジウム「地方創生に図書館は、どう貢献できるか」を開催 (10月2日・3日) | 図書館 |
| | | | 3 | ・ 弥生の森講座⑥「秋の実りと巣箱づくり」 | 文化財課 |
| | | | | ・ 企画展「日本近代洋画への道 -山岡コレクションを中心に」 (~11/8) | 博物館 |
| | | | 8 | ・ 平成28年度全国高等学校総合体育大会カウントダウンイベント | 体育保健課 |
| ・ 文化財庭園技術者講習会 (第2回) (~10/9) | 文化財課 | | | | |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|----|----|----|--|-----------------------------------|
| 27 | 10 | 9 | ・ 学校体育充実事業（武道指導推進事業）授業実施（～12/18） | 体育保健課 |
| | | 10 | ・ 第1回スクールソーシャルワーカー育成研修 ・ むきばんだジュニアファンクラブ（第7回：草木染め体験） | いじめ・不登校総合対策センター 文化財課 |
| | | 11 | ・ 弥生のものづくり講座入門編②「草木染め」 | 文化財課 |
| | | 13 | ・ 鳥取環境大学と鳥取県教育委員会との意見交換会（第3回） ・ PTA日韓交流事業（9人訪問）（～10/16） | 教育総務課 小中学校課 |
| | | 14 | ・ 第2回いじめ問題対策連絡協議会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | 15 | ・ 鳥取県社会教育振興大会（全国公民館研究集会 in鳥取） ・ 「鳥取県高校生クイズ～学校図書館で鳥取を知ろうセカンドバージョン～」を実施（10月～12月） | 社会教育課 図書館 |
| | | 16 | ・ 第2回特別支援学校運動・スポーツ推進協議会 | 特別支援教育課 |
| | | 17 | ・ 民俗芸能フォーラム | 文化財課 |
| | | 20 | ・ 第2回「学校生活適応支援員」連絡協議会 ・ 第1回キャリア教育推進会議 ・ 第2回指定管理候補者審査委員会 | いじめ・不登校総合対策センター 高等学校課 社会教育課 |
| | | 22 | ・ 第2回ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会（委託） ・ 鳥取県人権教育アドバイザー及び市町村人権教育担当者研修会 ・ 平成28年度全国高等学校総合体育大会鳥取県実行委員会第1回常任委員会 | 社会教育課 人権教育課 体育保健課 |
| | | 23 | ・ 鳥取県・バーモント州青少年交流（～11/3 アメリカ合衆国 生徒17人参加） | 高等学校課 |
| | | 24 | ・ 特別支援学校合同文化祭 ・ 第3回とっとりイングリッシュクラブ（中・高校生23人参加、東部） ・ 連続講座第3回「三徳山・三朝温泉の真実」 | 特別支援教育課 高等学校課 文化財課 |
| | | 25 | ・ 「図書館で健康長寿リレー講演会（第1回）」を開催（県立図書館） | 図書館 |
| | | 26 | ・ 第2回スクールカウンセラー連絡協議会 ・ 新規高等学校等卒業予定者就職問題連絡会議・就職受験状況検討会議（地区別）東部10/26、中部10/27、西部10/30 | いじめ・不登校総合対策センター 高等学校課 |
| | | 27 | ・ 第2回いじめ・不登校対策本部会議 ・ 英語教育推進フォーラム | いじめ・不登校総合対策センター 高等学校課 |
| | | 29 | ・ 学びの文化祭（米子） ・ ケータイ・インターネット教育推進員スキルアップ講座（東部）（委託） ・ ロシアアルセーニエフ博物館との交流協議（～11/2） | 教育センター 社会教育課 博物館 |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 | |
|----------------------|-------------------------------|----|--|---------------------------------------|-----------------|
| 27 | 10 | 30 | ・ 第2回コンプライアンス推進員研修会 | 教育総務課 | |
| | | | ・ ケータイ・インターネット教育推進員研修会（中部）（委託） | 社会教育課 | |
| | | 31 | ・ ケータイ・インターネット教育推進員研修会（東部）（委託） | 社会教育課 | |
| | 11 | 1 | ・ 江原道教育庁との教育交流（教員交流）（10名訪韓）（～11/6） | 小中学校課 特別支援教育課 高等学校課 | |
| | | | ・ 科学の甲子園鳥取県大会（生徒79人参加） | 高等学校課 | |
| | | | ・ ケータイ・インターネット教育推進員研修会（西部）（委託） | 社会教育課 | |
| | | | 2 | ・ 第2回県・市町村（学校組合）教育行政連絡協議会 | 教育総務課 |
| | | 2 | ・ 学びの文化祭（鳥取） | 教育センター | |
| | | | ・ 県立高等学校入学者選抜実施要項説明会（東部11/2、中部11/5、西部11/5） | 高等学校課 | |
| | | 3 | ・ 第3回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会 | 博物館 | |
| | | | ・ 特別資料展「とっとり文学の情景展」を開催（～11月29日まで） | 図書館 | |
| | | 4 | ・ 第4回とっとりイングリッシュクラブ（中・高校生14人参加、西部） | 高等学校課 | |
| | | | ・ むきばんだジュニアファンクラブ（第8回：雑炊づくり） | 文化財課 | |
| | | 5 | ・ 電子メディアとの付き合い方フォーラム（委託） | 社会教育課 | |
| | | | ・ 弥生のものでづくり講座入門編④「ガラス勾玉づくり」 | 文化財課 | |
| | | 6 | ・ 「図書館で健康長寿リレー講演会（第2回）」を開催（伯耆町） | 図書館 | |
| | | | ・ 文化財庭園技術者講習会（第3回） | 文化財課 | |
| | | 7 | ・ 第17回図書館総合展における地方創生レファレンス大賞「文部科学大臣賞」を受賞 | 図書館 | |
| | | | ・ 第2回教職員研修等実施協議会 | 教育センター | |
| | | 8 | 13 | ・ 韓国江原道児童生徒交流団（小・中・高校生等32名受入）（～11/17） | 小中学校課 高等学校課 |
| | | | | ・ 第3回日本遺産認定第1号「三徳山・三朝温泉」写真展（～11/15） | 文化財課 |
| | | | | ・ 来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展 中部展（～11/15） | 文化財課 |
| | | 9 | 14 | ・ 第2回スクールソーシャルワーカー育成研修 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | ・ 第35回近畿高等学校総合文化祭鳥取大会（～11/22） | | | 高等学校課 | |
| | 10 | 15 | ・ サイエンスレクチャー「中村栄三博士講演会」 | 博物館 | |
| | | | ・ 第2回鳥取県育英奨学生選考委員会 | 人権教育課 | |
| | 11 | 17 | ・ 第4回日本遺産認定第1号「三徳山・三朝温泉」写真展（～12/10） | 文化財課 | |
| ・ 学力向上推進に係る説明会（東部地区） | | | 小中学校課 | | |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 | |
|----|----|----|--|--|---|
| 27 | 11 | 19 | ・ 児童生徒のネットトラブル防止研修（～11/20） | いじめ・不登校総合対策センター | |
| | | 20 | ・ 第4回スクールソーシャルワーカー連絡会議 ・ 第1回ふるさと未来創造塾 | 高等学校課 文化財課 | |
| | | 24 | ・ 市町村教育委員会への鳥取県教育委員会予算説明会 ・ 学力向上推進に係る説明会（中部地区） | 教育総務課 小中学校課 | |
| | | 26 | ・ 学力向上推進に係る説明会（西部地区） ・ 伯耆町合同研究協議会 | 小中学校課 人権教育課 | |
| | | 27 | ・ 第2回ふるさと未来創造塾 | 文化財課 | |
| | | 28 | ・ 土曜自主セミナー（教師のためのチームビルディング） 国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第4回 ・ 特別講演「弥生時代の用と美の誕生～青谷上寺地遺跡から吉田璋也まで～」 | 教育センター 文化財課 | |
| | | 29 | ・ 弥生のものづくり講座入門編③「鉄器づくり」 | 文化財課 | |
| | | 30 | ・ 鳥取県幼保小連携推進研修会 | 小中学校課 | |
| | | 12 | 1 | ・ 展示「追悼・水木しげる『水木しげる人生絵巻』」を開催（～12月27日まで） | 図書館 |
| | | | 3 | ・ 特別支援学校技能検定 | 特別支援教育課 |
| | | | 4 | ・ 第2回スクールソーシャルワーカー連絡協議会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | 5 | ・ 第3回スクールソーシャルワーカー育成研修 ・ むきばんだジュニアファンクラブ（第9回：機織り体験） ・ 企画展「戦後70年 鳥取と戦争」（～1/11） | いじめ・不登校総合対策センター 文化財課 博物館 |
| | | | 6 | ・ 第3回鳥取県スポーツ指導者研修会（倉吉体育文化会館 131人） | 体育保健課 |
| | | | 10 | ・ 鳥取県教育研究大会 ・ 県立琴の浦高等特別支援学校一般入学者選抜（～12/11） ・ 鳥取県教育研究大会 ・ 第4回「夏泊の海女漁」関係機関連絡協議会 | 小中学校課 特別支援教育課 高等学校課 特別支援教育課 高等学校課 文化財課 |
| | | | 11 | ・ 第2回就職応援本部（高校部会） 平成28年度全国高等学校総合体育大会第3回鳥取県高校生活動推進委員会 | 高等学校課 体育保健課 |
| | 14 | | ・ 第2回相談窓口関係機関連絡会議 | いじめ・不登校総合対策センター | |
| | 15 | | ・ 特別な支援を必要とする子どもたちの明日を語る会（中部地区） | 特別支援教育課 | |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 | |
|----|----|----|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| 27 | 12 | 16 | ・ 第1回キャリア教育推進協力企業認定式 | 高等学校課 | |
| | | 17 | ・ スクールカウンセラー研修会 西部会場 ・ 「秋里遺跡」現地説明会 | いじめ・不登校総合対策センター 文化財課 | |
| | | 19 | ・ 第5回とっとりイングリッシュクラブ (中・高校生12人参加、中部) ・ 「図書館で健康長寿リレー講演会 (第3回)」を開催 (倉吉市) | 高等学校課 図書館 | |
| | | 21 | ・ 特別な支援を必要とする子どもたちの明日を語る会 (西部地区) | 特別支援教育課 | |
| | | 28 | 1 | 3 | ・ 韓国江原外国語教育院教員派遣 (~1/17 高等学校教員2人) |
| 28 | 1 | 9 | ・ むきばんだジュニアファンクラブ (第10回: 修了式・餅つき) | 文化財課 | |
| | | 14 | ・ 鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアム 情報モラル部会 | 教育センター | |
| | | 15 | ・ 特別な支援を必要とする子どもたちの明日を語る会 (東部地区) ・ 県・市町村社会教育主事等研修会 | 特別支援教育課 社会教育課 | |
| | | 16 | ・ 「図書館で健康長寿リレー講演会 (第4回)」を開催 (鳥取市) ・ 国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第5回 | 図書館 文化財課 | |
| | | 18 | ・ 社会教育主事講習 [B] (~2/26) | 社会教育課 | |
| | | 19 | ・ 鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアム 先進地視察 (松江市) | 教育センター | |
| | | 20 | ・ 平成27年度第3回総合教育会議 | 教育総務課 (とっとり元気戦略課) | |
| | | 21 | ・ 第1回弥生の王国 考現学講座 (青谷高等学校) | 文化財課 | |
| | | 22 | ・ 県立高等学校における特別支援教育充実のための意見交換会 (東部1/22、中部1/26、西部1/29) | 高等学校課 | |
| | | 23 | ・ 土曜自主セミナー (アクティブ・ラーニングとその評価) ・ 第6回とっとりイングリッシュクラブ (中・高校生12人参加、東部) ・ 史跡指定15周年記念シンポジウム「激動の3世紀を生きる」 | 教育センター 高等学校課 文化財課 | |
| | | 24 | ・ こども未来フォーラム | いじめ・不登校総合対策センター | |
| | | 25 | ・ 平成27年度第2回鳥取県立博物館協議会 | 博物館 | |
| | | 29 | ・ 第12回就職応援本部 ・ 埋蔵文化財専門職員研修「発掘技術検討課程」 ・ 第4回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会 | 高等学校課 文化財課 博物館 | |
| | | 30 | ・ 高校生理数課題研究等発表会 (生徒43人参加) | 高等学校課 | |
| | | 31 | ・ 土曜授業等推進フォーラム | 小中学校課 | |
| | | 2 | 1 | ・ 退職予定者のためのライフプラン研修会及び相談会 (中部会場) | 教育総務課 |
| | | | | ・ 広報スキルアップ研修 | 社会教育課 |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|--------------------------------|-------|----|---|-----------------|
| 28 | 2 | 2 | ・退職予定者のためのライフプラン研修会及び相談会（西部会場） | 教育総務課 |
| | | | ・専門高校活動成果発表大会（参加生徒約150人、内発表生徒63人） | 高等学校課 |
| | | | ・第3回ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会（委託） | 社会教育課 |
| | | 4 | ・退職予定者のためのライフプラン研修会及び相談会（東部会場） | 教育総務課 |
| | | | ・第2回県立高等学校入試改善研究専門委員会 | 高等学校課 |
| | | 6 | ・巡回企画展「GOGO発見！体験！むきばんだ」（イオン鳥取北店） （～2/11） | 文化財課 |
| | | 7 | ・第4回鳥取県スポーツ指導者研修会（倉吉未来中心 104人） | 体育保健課 |
| | | 8 | ・第3回特別支援学校運動・スポーツ推進協議会 | 特別支援教育課 |
| | | 9 | ・第2回学校支援ボランティア研修会（全県） | 小中学校課 |
| | | | ・第2回同和問題等雇用連絡協議会 | 高等学校課 |
| | | 10 | ・県立高等学校推薦入学者選抜 | 高等学校課 |
| | | 12 | ・平成28年度全国高等学校総合体育大会鳥取県実行委員会第2回常任委員会 | 体育保健課 |
| | | 15 | ・スクールカウンセラー研修会 東部会場 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | ・鳥取県教育センター研究発表会（～2/16） | 教育センター |
| | | | ・第2回弥生の王国 考現学講座（智頭農林高等学校） | 文化財課 |
| | | 16 | ・第2回ファシリテータスキルアップ研修会 | 小中学校課 |
| | | | ・第2回県立学校第三者評価委員会 | 高等学校課 |
| | | | ・人権教育研究推進事業連絡協議会 | 人権教育課 |
| | | 17 | ・巡回企画展「GOGO発見！体験！むきばんだ」（大山町名和公民館）（～2/21） | 文化財課 |
| | | | ・第5回スクールソーシャルワーカー連絡会議 | 高等学校課 |
| | | | ・第1回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会 | 博物館 |
| | | 18 | ・第4回ICT活用教育推進チームPT | 教育センター |
| | | | ・エキスパート教員育成事業報告会 | 高等学校課 |
| | | | ・教科でつながる鳥取発スクラム教育全県連絡協議会 | 高等学校課 |
| | | 19 | ・道徳教育パワーアップ研究協議会 | 小中学校課 |
| | | | ・第2回大山青年の家運営委員会 | 社会教育課 |
| | | | ・妻木晩田遺跡発掘調査委員会（第27回） | 文化財課 |
| ・平成27年度第2回鳥取県文化財保護審議会 | 文化財課 | | | |
| ・体育主任等連絡協議会（中学校・高等学校 倉吉体育文化会館） | 体育保健課 | | | |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|----------------------------|-----|----|---|---------------------------|
| 28 | 2 | 22 | ・ 手話普及支援員情報交換会（西部地区） | 特別支援教育課 |
| | | 23 | ・ 手話普及支援員情報交換会（東部地区） | 特別支援教育課 |
| | | | ・ 第1回鳥取県いじめ問題調査委員会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | ・ 第2回船上山少年自然の家運営委員会 | 社会教育課 |
| | | | ・ 体育主任等連絡協議会（小学校 倉吉体育文化会館） | 体育保健課 |
| | | 24 | ・ 手話普及支援員情報交換会（中部地区） | 特別支援教育課 |
| | | | ・ 教育支援センター「ハートフルスペース」第2回連絡会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | 25 | ・ 鳥取・島根連携講座連絡協議会 | 教育センター |
| | | 26 | ・ エキスパート教員選考委員会 | 小中学校課 特別支援教育課 高等学校課 |
| | | | ・ 第2回キャリア教育推進会議 | 高等学校課 |
| | 3 | 1 | ・ とっとり発掘物語展 | 文化財課 |
| | | | ・ 「図書館で夢を実現しました大賞」の表彰式を開催（米子市） | 図書館 |
| | | | ・ 「ビジネスライブラリーフォーラム『鳥取の未来のための地域活性化とは？～地域活性化を支える公共図書館の可能性～』」を開催（米子市） | 図書館 |
| | | 2 | ・ 第3回いじめ問題対策連絡協議会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | 4 | ・ 埋蔵文化財専門職員研修「遺物調査検討課程」 | 文化財課 |
| | | 5 | ・ 国際交流ライブラリー講演会～本でひらこう世界への扉～第1回「高木東六の音楽と20世紀前半の北東アジア～没後10年・米子出身の音楽家の知られざる足跡～」を開催（米子市） | 図書館 |
| | | 6 | ・ 鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアム プログラミング教室 | 教育センター |
| | | 7 | ・ むきばんだ de 弥生体験この1年 2015（～5/29） | 文化財課 |
| | | 8 | ・ 平成28年度鳥取県立特別支援学校（幼稚部・高等部・専攻科）入学者募集及び一般入学者選抜 | 特別支援教育課 |
| | | | ・ 県立高等学校一般入学者選抜（～3/9） | 高等学校課 |
| ・ 「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」を策定 | 図書館 | | | |

| 年 | 月 | 日 | 記 事 | 担 当 課 |
|----|---|----|---|---------------------------|
| 28 | 3 | 11 | ・巡回企画展「GOGO発見！体験！むきばんだ」（パープルタウン）（～3/15） | 文化財課 |
| | | 12 | ・国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第6回 | 文化財課 |
| | | 13 | ・世界で学ぶ！高校生海外体験推進事業（～3/20 韓国、シンガポール 生徒26人参加、含む理数課題研究等優秀者4名） | 高等学校課 |
| | | | ・英語弁論大会優秀者海外派遣事業（～3/21 NZクライストチャーチ生徒2人参加） | 高等学校課 |
| | | 18 | ・第2回青谷上寺地遺跡発掘調査委員会 | 文化財課 |
| | | 19 | ・国際交流ライブラリー講演会～本でひらこう世界への扉～第2回 「中国若者の対外意識を問い続ける日本専門誌の底力」を開催（県立図書館） | 図書館 |
| | | | ・巡回企画展「GOGO発見！体験！むきばんだ」（米子市児童文化センター）（～3/23） | 文化財課 |
| | | 20 | ・国際交流ライブラリー講演会～本でひらこう世界への扉～第3回 「アメリカ・イギリス絵本の窓から～絵本にできること～」を開催（倉吉市） | 図書館 |
| | | 22 | ・就職問題検討会議 | 高等学校課 |
| | | 23 | ・鳥取県家庭教育推進協力企業協定証授与式 | 小中学校課 |
| | | 24 | ・第2回キャリア教育推進協力企業認定式 | 高等学校課 |
| | | 25 | ・エキスパート教員認定式 | 小中学校課 特別支援教育課 高等学校課 |
| | | | ・平成27年度鳥取県立鳥取盲学校高等部保健医療科及び専攻科理療科再募集入学者選抜 | 特別支援教育課 |
| | | | ・第2回鳥取県いじめ問題調査委員会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | ・県立高等学校再募集入学者選抜 | 高等学校課 |
| | | 26 | ・巡回企画展「GOGO発見！体験！むきばんだ」（大山町公民館所子分館）（～4/3） | 文化財課 |
| | | 27 | ・国史跡青谷上寺地遺跡再発見講座 | 文化財課 |
| | | 28 | ・第5回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会 | 博物館 |
| | | 31 | ・第3回鳥取県いじめ問題調査委員会 | いじめ・不登校総合対策センター |
| | | | ・郷土出身文学者シリーズ『大江賢次』を発行 | 図書館 |

(2) 教育委員会等の開催概要

①教育委員会（年12回開催）

- | | | |
|---------------|---------------------|--|
| 4月17日 | 議案(3件) 報告事項(9件) | 「1.平成27年度教科用図書選定審議会への諮問について」 「2.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「3.鳥取県文化財保護審議会専門委員の任命について」 「平成26年度鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について」外8件 |
| 5月14日 | 議案(6件) 報告事項(12件) | 「1.鳥取県教育審議会委員の任命について」 「2.平成28年度鳥取県立特別支援学校(幼稚園・高等部・専攻科)入学者募集及び選抜方針について」 「3.平成28年度鳥取県立高等特別支援学校入学者選抜方針について」 「4.平成28年度鳥取県立高等学校入学者選抜方針について」 「5.県立高校入試(推薦入試)における全国募集について」 「6.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「平成28年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項について」外11件 |
| 6月29日 | 議案(3件) 報告事項(7件) | 「1.平成27年度アクションプラン(6月補正後)について」 「2.鳥取県立大山青年の家の管理運営に関する規則及び鳥取県立船上山少年自然の家の管理運営に関する規則の一部改正について」 「3.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「平成27年度鳥取県教科書用図書選定審議会の第1次、第2次答申について」外6件 |
| 7月24日 | 議案(2件) 報告事項(7件) | 「1.平成26年度教育行政の点検及び評価について」 「2.鳥取県教育委員会指定管理候補者審査委員会委員の任命について」 「懲戒免職処分取消請求訴訟について」外6件 |
| 8月24日 | 議案(3件) 報告事項(12件) | 「1.鳥取県立学校管理規則の一部改正について」 「2.平成28年度鳥取県立高等学校募集生徒数について」 「3.文化財の県指定について」 「鳥取県立琴の浦高等特別支援学校における健康診断の記録の誤配布について」外11件 |
| 9月7日 | 議案(1件) 報告事項(10件) | 「1.鳥取県就学支援委員会委員の任命について」 「県立学校職員パソコンにおけるマルウェア感染について」9件 |
| 10月19日 | 議案(3件) 報告事項(12件) | 「1.平成27年度鳥取県教育委員会表彰について」 「2.鳥取県立学校管理規則の一部改正について」 「3.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「平成27年度第2回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について」外11件 |
| 11月20日 | 議案(4件) 報告事項(15件) | 「1.公立学校職員の懲戒処分について」 「2.公立学校職員の懲戒処分について」 「3.平成26年度末公立学校教職員人事異動方針について」 「4.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「平成27年度第3回・第4回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について」外14件 |

12月24日 議 案 (4件) 「1. 現業職員の給与に関する規則の一部改正について」
「2. 鳥取県高等学校現業職員労働組合との労働協約の一部改正について」
「3. 鳥取県文化財保護審議会への諮問について」
「4. 鳥取県文化財保護審議会委員の任命について」
報告事項 (9件) 「損害賠償請求訴訟の提起について」外 8件
協議事項 (1件) 「1. 平成27年度アクションプラン中間評価 (案) について」

1月20日 議 案 (3件) 「1. 委員長の選出について」
「2. 委員長職務代行者の指定について」
「3. 公立学校教職員の懲戒処分について」
報告事項 (2件) 「いじめにかかる調査委員会の設置について」外 1件

2月8日 議 案 (4件) 「1. 鳥取県教育委員会職員安全衛生管理規則の一部改正について」
「2. 平成28年度鳥取県公立小・中・特別支援学校学級編成基準について」
「3. 指導改善研修を要する教員の認定、処遇等について」
「4. 鳥取県立博物館協議会委員の任命について」
報告事項 (4件) 「こども未来フォーラムの開催結果について」外 3件

3月16日 議 案 (17件) 「1. 教育委員会事務局局人事 (課長級以上) について」
「2. 市町村 (学校組合) 立学校長人事について」
「3. 欠番」
「4. 県立特別支援学校長人事について」
「5. 県立特別支援学校事務長等 (課長相当職) 人事について」
「6. 県立高等学校長人事について」
「7. 県立高等学校事務長等 (課長相当職) 人事について」
「8. 鳥取県教育委員会事務処理権限規程の一部改正について」
「9. 平成28年4月の組織改正に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の新設について」
「10. 鳥取県特定個人情報の利用及び提供に関する条例に基づき個人番号を利用する事務を定める規則の新設について」
「11. 現業職員就業規則の一部改正について」
「12. 鳥取県高等学校現業職員労働組合との労働協約の一部改訂について」
「13. 鳥取県教育職員の免許状の有効期間の更新等に関する規則の一部改正について」
「14. 平成28年度アクションプランについて」
「15. 女性活躍推進法における特定事業主行動計画について」
「16. 鳥取県立博物館の管理運営に関する規則の一部改正について」
「17. 文化財の県指定について」
「18. 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針 [平成31年度～平成37年度] について」
報告事項 (21件) 「教育委員会事務局局人事について」外20件

②臨時教育委員会 (1件開催)

3月24日 議案 (2件) 「1. 公立学校教職員の懲戒処分について」
「2. 公立学校教職員の懲戒処分について」
報告事項 (1件) 「鳥取県の「教育に関する大綱」について」
協議事項 (1件) 「1. 公立学校教職員の検定中教科書の閲覧問題等について」

③委員研修会 (年7回開催)

- ▽ 4月17日 「平成27年度教育委員会事務局主要懸案事項」
- ▽ 5月14日 「平成27年度全国学力・学習状況調査抽出分析結果について」
- ▽ 8月24日 「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について」

- ▽ 9月7日 「県指定無形文化財の呼称について」
- ▽ 10月19日 「エキスパート教員認定制度に係る見直しについて」
「主権者教育について」
- ▽ 11月20日 「生徒指導に関するガイドラインの改訂について」

④委員協議会（年17回開催）

- ▽ 4月17日 「平成26年度教育行政の点検及び評価（案）」について」外7件
- ▽ 5月14日 「総合教育会議について」外3件
- ▽ 6月10日 「特別支援学校における医療的ケアについて」
- ▽ 6月29日 「総合教育会議について」外5件
- ▽ 7月24日 「教育振興基本大綱及び教育振興プランについて」外7件
- ▽ 8月20日 「鳥取県就学支援委員会委員の改選について」外2件
- ▽ 8月24日 「平成27年度主要懸案事項の進捗状況について」外4件
- ▽ 9月7日 「平成27年度鳥取県教育委員会表彰について」外4件
- ▽ 9月25日 「鳥取市立中学校生徒の死亡について」
- ▽ 10月19日 「鳥取市立中学校生徒の死亡について」外4件
- ▽ 11月20日 「第4回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の配付資料について」外6件
- ▽ 12月24日 「総合教育会議について」外6件
- ▽ 1月20日 「平成27年度第2回鳥取県立博物館協議会の資料について」外6件
- ▽ 2月8日 「平成28年度「アクションプラン」について」外8件
- ▽ 3月13日 「教育委員会事務局局人事（課長級以上）について」外7件
- ▽ 3月19日 「教育に関する大綱について」外8件
- ▽ 3月30日 「公立学校教職員の不祥事について」

(3) 刊行物一覧

| 名 称 | 課・所名 | 発行時期 | 発行部数 | 頁 数 |
|--|-----------------|--------|---------|-----|
| 教育だより「とっとり夢ひろば」(78号～82号) | 教育総務課 | 年5回 | 516,000 | 8 |
| 心とからだいきいきキャンペーン啓発クリアファイル | 教育総務課 | H27.5 | 2,000 | - |
| 心とからだいきいきキャンペーン啓発クリアファイル | 教育総務課 | H27.6 | 4,500 | - |
| 心とからだいきいきキャンペーンチラシ(小学生以上用) | 教育総務課 | H27.6 | 20,000 | 2 |
| 心とからだいきいきキャンペーン啓発下敷き | 教育総務課 | H27.9 | 6,000 | - |
| 「とっとりの教育」日本語・英語版 | 教育総務課 | H27.11 | 300 | 8 |
| 「とっとりの教育」日本語・韓国語版 | 教育総務課 | H27.11 | 300 | 8 |
| みんなでつくろう！とっとりの学び ー平成27年度全国学力・学習状況調査からー(小学校 児童・家庭用) | 小中学校課 | H27.12 | 32,650 | 2 |
| みんなでつくろう！とっとりの学び ー平成27年度全国学力・学習状況調査からー(中学校 生徒・家庭用) | 小中学校課 | H27.12 | 16,900 | 2 |
| みんなでつくろう！とっとりの学び ー平成27年度全国学力・学習状況調査からー(教師用) | 小中学校課 | H27.12 | 7,750 | 8 |
| 学級づくり・人間関係づくりハンドブック | 小中学校課 | H28.3 | 5,500 | 28 |
| 小学生スタートブック | 小中学校課 | H27.12 | 7,000 | 8 |
| 家庭教育啓発リーフレット「子どもと向き合うとっとりの家庭教育」 | 小中学校課 | H28.3 | 75,000 | 12 |
| 鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集 | 小中学校課 | H28.3 | 600 | 98 |
| 技能検定(清掃部門(じゅうたん及び窓枠清掃))のてびきDVD | 特別支援教育課 | H27.9 | 50 | 1 |
| 技能検定(喫茶部門)のてびきDVD | 特別支援教育課 | H28.3 | 50 | 1 |
| 手話ハンドブック(入門編)増刷分 | 特別支援教育課 | H27.8 | 6,000 | 72 |
| 手話ハンドブック(活用編)増刷分 | 特別支援教育課 | H27.8 | 6,000 | 72 |
| 発達障がいハンドブック(教員版) | 特別支援教育課 | H28.2 | 7,500 | 48 |
| 相談窓口案内クリアファイル | いじめ・不登校総合対策センター | H27.9 | 68,000 | - |
| 教育相談リーフレット | いじめ・不登校総合対策センター | H28.3 | 4,500 | 4 |
| 平成28年度「高校ガイド」 | 高等学校課 | H27.7 | 7,400 | 16 |
| 中学校進路指導資料「輝け！夢」(平成27年度版) | 高等学校課 | H27.10 | 7,300 | 128 |
| 高等学校における特別支援教育の充実を目指して | 高等学校課 | H28.3 | 2,000 | 6 |
| 未来をひらく鳥取学」学習ノート(委託) | 社会教育課 | H27.4 | 800 | 24 |
| 生涯学習とっとり(委託) | 社会教育課 | 年6回 | 4,500 | 30 |
| ケータイ・インターネット教育啓発リーフレットゲーム機・音楽プレーヤー版(委託) | 社会教育課 | H27.12 | 31,500 | 4 |
| ケータイ・インターネット教育啓発リーフレット総合版(委託) | 社会教育課 | H27.12 | 28,000 | 4 |
| 船上山少年自然の家パンフレット | 船上山少年自然の家 | H28.3 | 1,000 | 6 |
| 大山青年の家パンフレット | 大山青年の家 | H28.3 | 1,000 | 6 |
| 大山青年の家パンフレット(小) | 大山青年の家 | H28.3 | 37,500 | 6 |
| 「読みメンになろう！」読みメンてちょう | 図書館 | H28.5 | 10,000 | 40 |
| 「図書館に行こう！本を読もう！！キャンペーン」読書通帳 | 図書館 | H28.9 | 20,000 | 12 |

| | | | | |
|---|--------------|--------|--------|-----|
| 郷土出身文学者シリーズ『大江賢次』 | 図書館 | H28.3 | 1,200 | 98 |
| つなげる・ひろげる・そだてる学校図書館～学校図書館活用ハンドブック～ | 図書館 | H28.3 | 1,100 | 100 |
| 考古学紀行 | 文化財課 | 年3回 | 60,000 | 8 |
| とっとり文化財イベントガイド | 文化財課 | H27.9 | 20,000 | 48 |
| さんいん史跡日和 | 文化財課 | H27.9 | 10,000 | 8 |
| 国史跡青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画ダイジェスト | 文化財課 | H27.10 | 300 | 40 |
| 弥生のふしぎ | 文化財課 | H27.10 | 20,000 | 8 |
| 一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XVIII「常松菅田遺跡I」 | 文化財課 | H27.10 | 300 | 340 |
| 一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XIX「高住井手添遺跡」 | 文化財課 | H27.10 | 300 | 818 |
| 一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XX「常松大谷遺跡I」 | 文化財課 | H27.12 | 300 | 166 |
| 妻木晩田遺跡史跡指定15周年記念シンポジウム資料集 | 文化財課 | H28.1 | 500 | 46 |
| 妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2015 | 文化財課 | H28.3 | 450 | 24 |
| 鳥取県立むきばんだ史跡公園年報2014 | 文化財課 | H28.3 | 300 | 52 |
| 一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書XXI「下坂本清合遺跡I」 | 文化財課 | H28.3 | 300 | 272 |
| 鳥取県文化財調査報告書第二十一集 | 文化財課 | H28.3 | 400 | 60 |
| 調査研究紀要7 | 文化財課 | H28.3 | 450 | 80 |
| 青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告11 石器(2) | 文化財課 | H28.3 | 300 | 256 |
| 青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2015 | 文化財課 | H28.3 | 100 | 34 |
| 弥生のふしぎ新聞3号 | 文化財課 | H28.3 | 500 | 1 |
| 弥生のふしぎ新聞4号 | 文化財課 | H28.3 | 500 | 1 |
| 弥生のふしぎ新聞5号 | 文化財課 | H28.3 | 500 | 1 |
| 山陰史跡ガイドブック第1巻(改訂版) | 文化財課(鳥根県と共同) | H28.3 | 4,000 | 48 |
| 鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書 | 博物館 | H27.4 | 300 | 85 |
| 鳥取県立博物館ニュース⑳ | 博物館 | H27.9 | 10,000 | 8 |
| 鳥取県立博物館年報第42号平成25年度 | 博物館 | H27.10 | 320 | 95 |
| 企画展「戦後70年 鳥取と戦争」図録 | 博物館 | H27.12 | 600 | 160 |
| 鳥取県立博物館研究報告52号 | 博物館 | H28.2 | 400 | 72 |
| 企画展「コウゲイノモリへ ー探求する工芸家たち」図録 | 博物館 | H28.2 | 600 | 148 |
| 鳥取県立博物館ニュース㉑ | 博物館 | H28.3 | 10,000 | 8 |
| 鳥取県立博物館年報第43号平成26年度 | 博物館 | H28.3 | 320 | 110 |
| 鳥取県性に関する指導の手引き | 体育保健課 | H28.3 | 350 | 110 |
| 鳥取県学校における食物アレルギー対応基本方針 | 体育保健課 | H28.3 | 350 | 16 |
| 平成27年度学校体育充実事業武道指導推進事業実践事例報告集 | 体育保健課 | H28.3 | 200 | 29 |
| チームとっとり元気キッズ育成モデル事業リーフレット | 体育保健課 | H28.3 | 2,000 | 4 |
| 平成27年度児童生徒の体力づくり | 体育保健課 | H28.3 | 460 | 128 |

